

10-World Champion YOKOMO

MR-4TC SD

LCG



MR-4TC SD LCG

2005.6.24

この度はヨコモ製R/Cカーキットをお買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誰でも手軽に楽しむことが出来ます。

R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様(中学生以下)が 組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

■ 組立の注意 ■

- 幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- 組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサービス部までお問い合わせ下さい。
- 組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- 組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- 部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属パーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないように注意して下さい。
- プラスティックパーツなどを切断する際は、切断した部品が飛び危険があるので注意して下さい。
- 回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- 配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないとショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- 必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- 塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

■ 走行の注意 ■

- ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを越える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サーキットで走らせて下さい。
- 公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走する事があります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で走らせて下さい。
- 周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合って、安全を確かめて下さい。
- R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で走らせると、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。バッテリーを接続した後は危険ですので、回転部分に手を触れないで下さい。
- 走行後のR/Cカーは各部が高温になる事があります。危険ですので冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい

■ 走らせる手順 ■

- ① タイヤが空転するように、台の上にR/Cカーを置きます。
- ② スピードコントローラのスイッチがOFFになっている事を確認してから、モーターとバッテリーを接続します。
- ③ 送信機のアンテナを伸ばし、スイッチをONにします。(送信機の電圧が下がっていると危険です。常に電圧の高い状態で使用して下さい。)
- ④ 受信機のスイッチをONにします。

■ 走行終了手順 ■

- ① スピードコントローラのスイッチをOFFにします。
- ② バッテリーの接続を外します。
- ③ 送信機のスイッチをOFFにし、アンテナを縮めます。

■ バッテリーの取り扱い ■

(バッテリーに付属の説明書に基づき使用して下さい。)

- バッテリーを充電する際は、周囲に燃えやすい物のない安全な場所で行って下さい。又、高温な場所での充電も避けて下さい。
- バッテリーの充電中は充電状況を常に確認して下さい。充電器の誤動作などで過充電すると、最悪の場合は発火する危険性があります。バッテリー温度が50度を越えたら充電を中止して下さい。
- 走行後のバッテリーは高い温度になります。連続使用するとバッテリーを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから充電して下さい。又、走行後のバッテリーはコンディション放電する事によって、性能を持続させる事が出来ます。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てずに、お手数でも電池専用の回収箱に捨てて下さい。

■ モーターの取り扱い ■

(モーターに付属の説明書に基づき使用して下さい。)

- 7.2Vのバッテリーでモーターのから回しをすると危険です。モーター内部を破損し部品が飛び出す事も考えられますので、もしモーターのブレードクインをする時は、モーターをしっかり固定し3～5V程度でから回して下さい。
- モーターは定期的なメンテナンスが必要です。劣化するとスピードが出なくなったり、走行時間が短くなります。定期的にクリーニングしたり、ブラシが減ってきたら交換する等のメンテナンスをして下さい。
- モーターの性能に合ったギヤ比を選択して下さい。ギヤ比が最適でないとモーターの性能を十分に発揮出来ないだけでなく、他のR/Cメカを壊す原因にもなります。
- 走行後のモーターは非常に高い温度になります。連続走行するとモーターを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから走行して下さい。

【組み立てに必要な物】

ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [MR-4TC SD LCG] ASSEMBLY

■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■

ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

- 2チャンネルプロポ (1サーボ 1アンプ仕様)
TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM
AND ELECTRONIC SPEED CONTROL
- 走行用 7.2V バッテリーパック
7.2V BATTERY PACK
- 走行用バッテリー充電器
BATTERY CHARGER
- 走行用モーター
MOTOR
- タイヤ
TIRES
- 走行用ボディー (ボディー付キットは不要)
BODY
- ボディー塗装用カラー
BODY SPRAY PAINT

■ 袋以外の箱に入っている物 ■

PARTS INCLUDED IN KIT

- | | |
|-----------|--------------|
| ● バンパー | BUMPER |
| ● ホイール | WHEELS |
| ● メインシャーシ | MAIN CHASSIS |
| ● ショックオイル | SHOCK OIL |

[MR-4TC SD LCG] の性能を十分に発揮させる為にイラストを良く参照し説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。

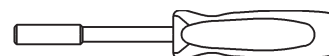
For assembly, follow the figures and the instructions closely so that your [MR-4TC SD LCG] will perform at its best!!

■ 別途用意する工具 ■

ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)



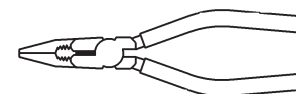
ドライバー (大, 小)
SCREW DRIVER (SMALL & LARGE)



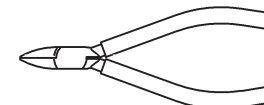
ボックスレンチ (7.0mm)
NUT DRIVER (7.0mm)



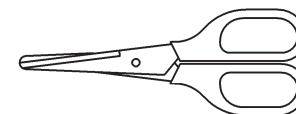
ボックスレンチ (5.5mm)
NUT DRIVER (5.5mm)



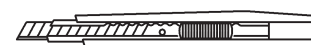
ラジオペンチ
NEEDLE NOSE PLIERS



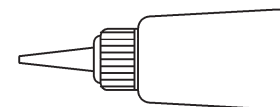
ニッパー
SIDE CUTTER



ハサミ
SCISSORS



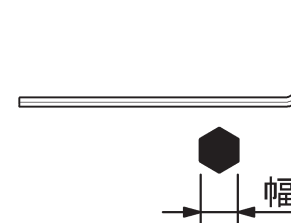
カッター
HOBBY KNIFE



瞬間接着剤
QUICK DRYING GLUE

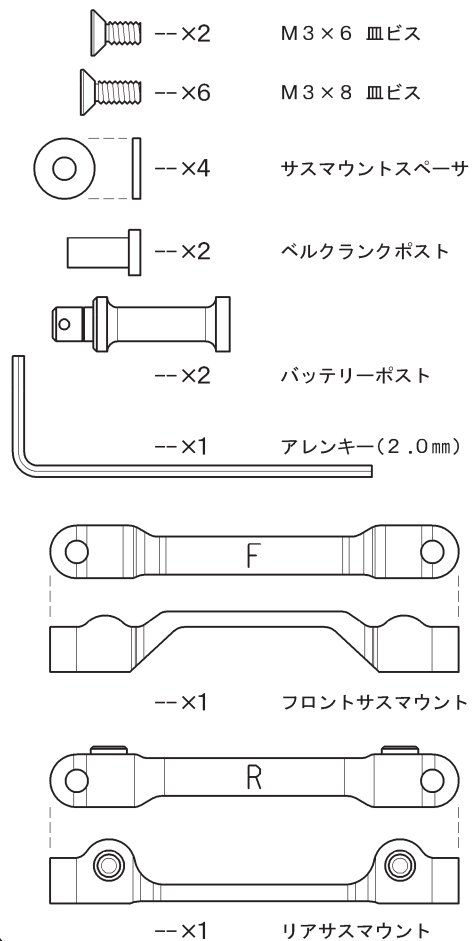
■ キットに入っている工具 ■

TOOLS (INCLUDED)



六角レンチ
ALLEN WRENCH
(2.5mm)
(2.0mm)
(1.5mm)

【 袋① の内容 】

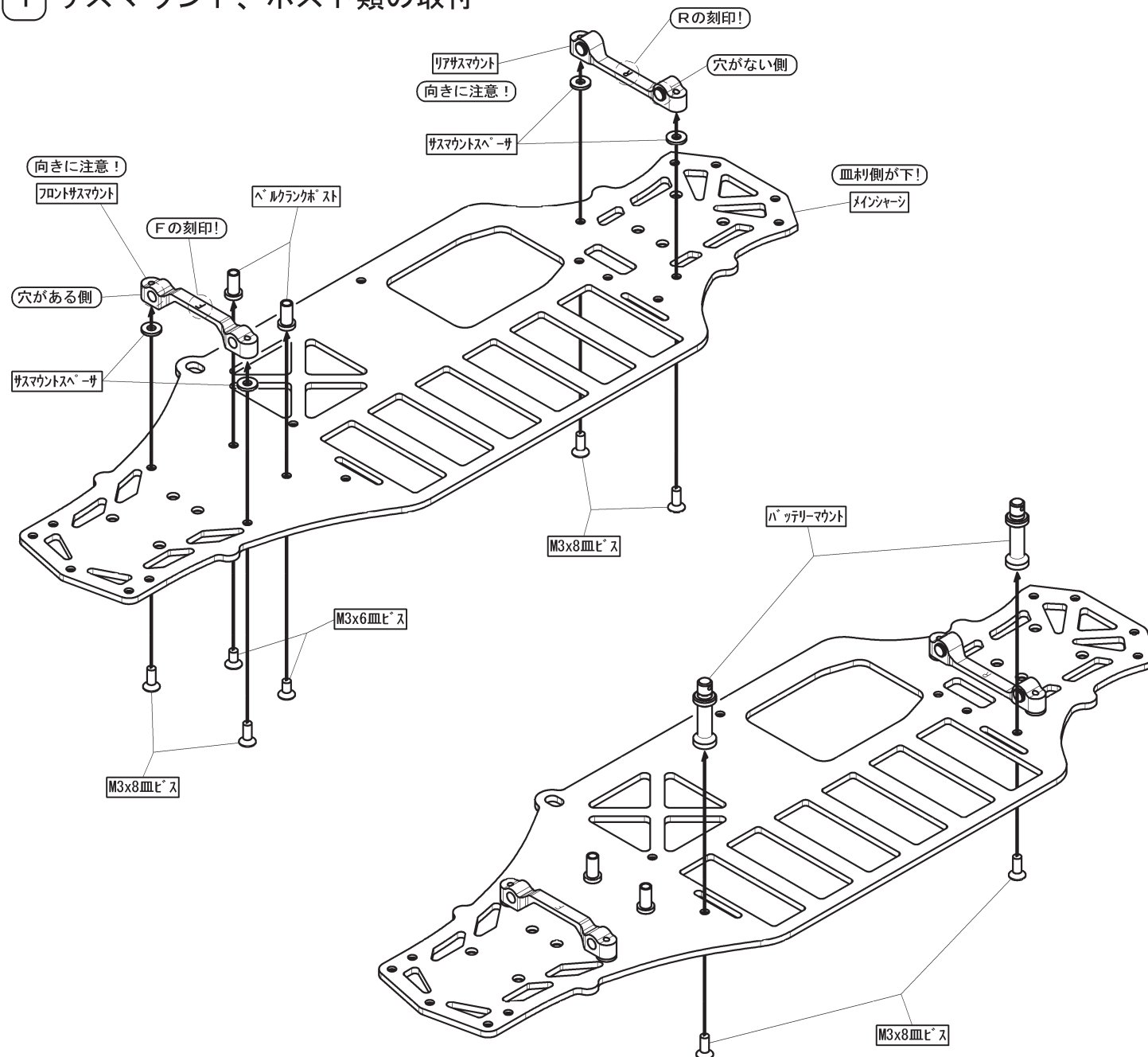


キット付属の皿ビス及びボタンヘッドビスは、頭の部分が六角タイプ(●)になっています。ネジを回す時は付属のアレンキー(2.0mm)をご使用下さい。

アレンキーでは作業がしにくい場合は、オプションのワークスレンチ2.0mm(YT-W200 ●980)をお買い求め下さい。

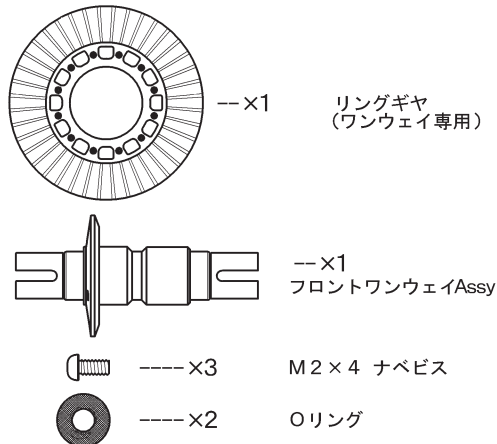
注意！①(フロント&リアサマウント)には向きがありますので取付には注意して下さい。

① サスマウント、ポスト類の取付

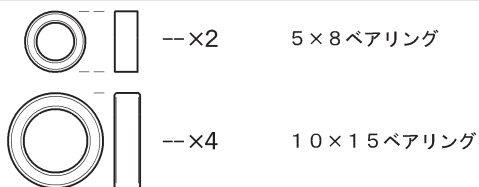
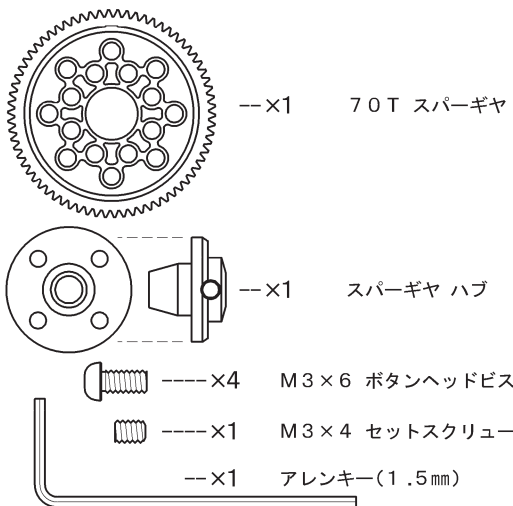


【 袋② の内容 】

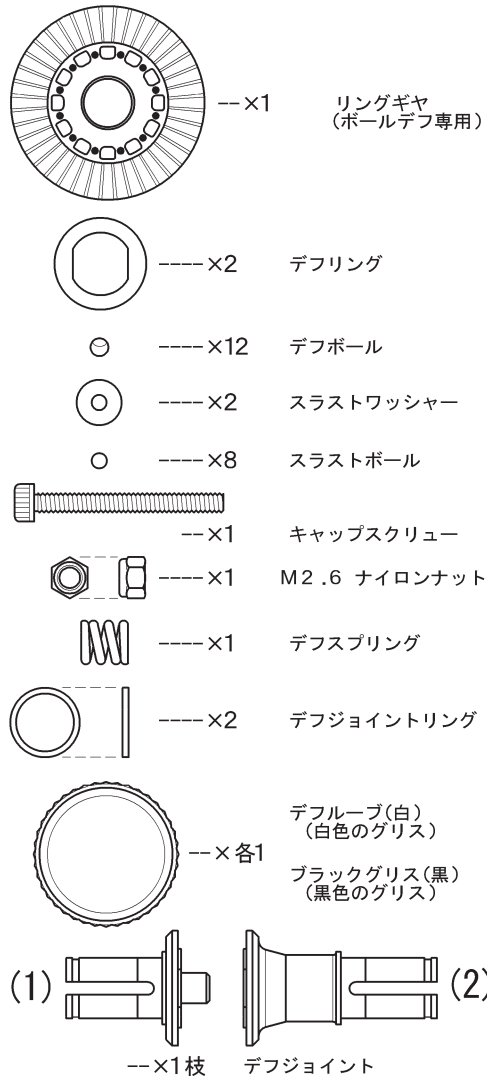
〔フロントワンウェイ用パーツ〕



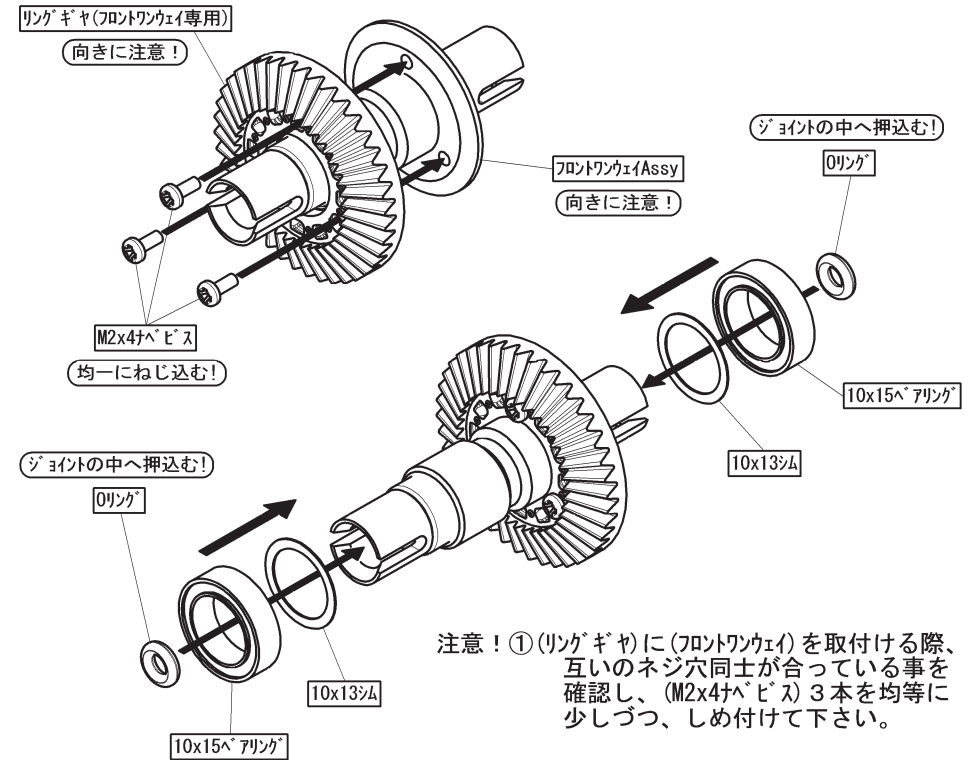
〔スパーギヤ用パーツ〕



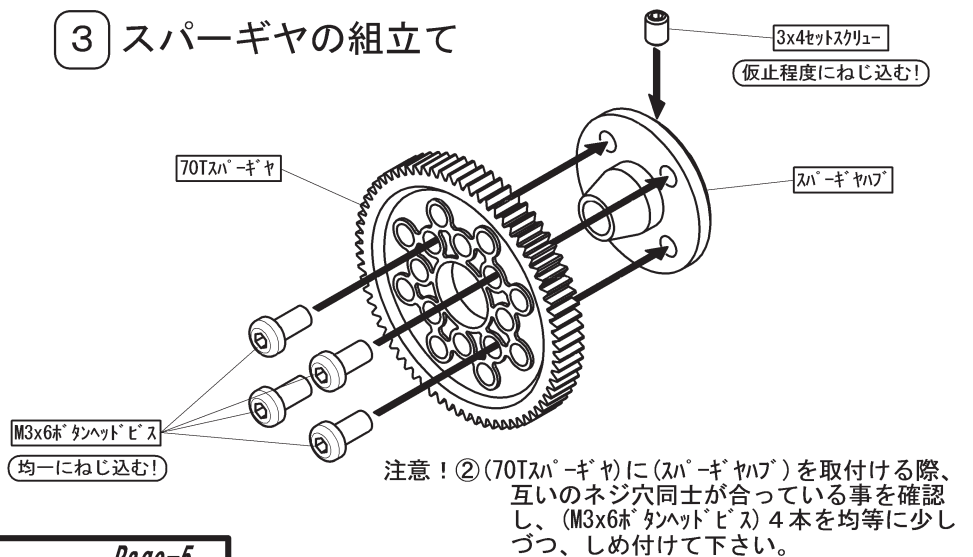
〔リアボールデフ用パーツ〕



2 フロントワンウェイの組立て

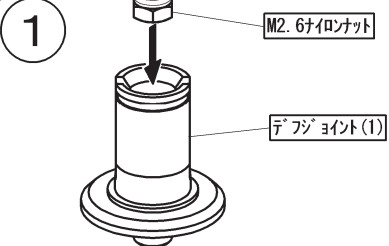


3 スパーギヤの組立て

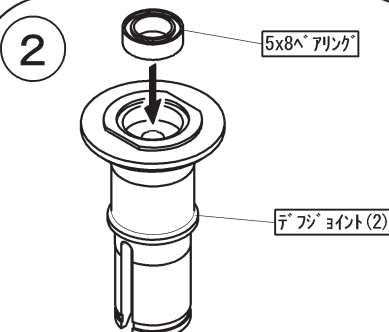


4 リアボールデフの組立て

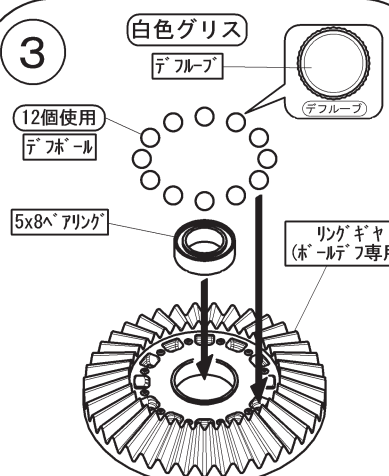
※ボールデフの組立てを始める前に、必ず注意をお読み下さい。



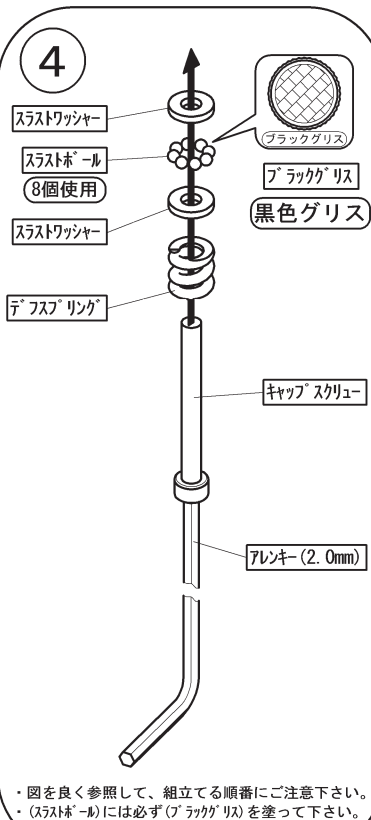
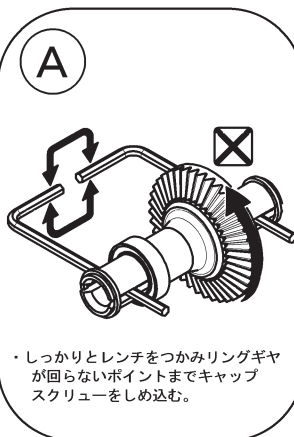
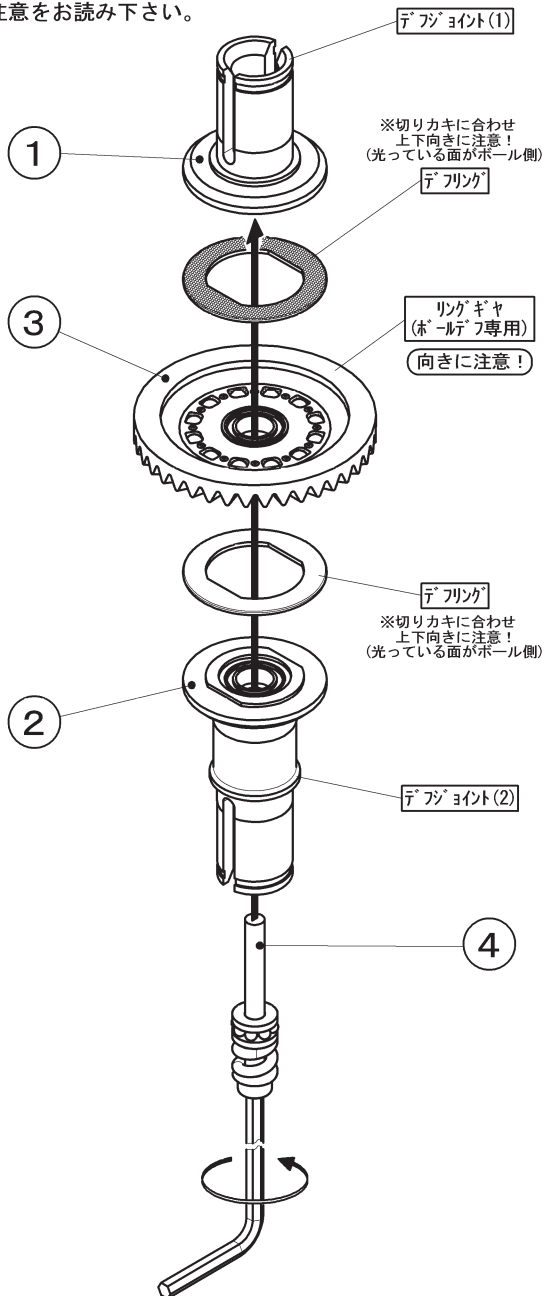
- ・ (M2.6 pin nut) は (デフジョイント (1)) の六角部分にしっかりと押込んで下さい。
- ・ (M2.6 pin nut) の向きはフィン側を外側 (ジョイント側) に向けて下さい。



- ・ (5x8mm pin) は垂直に押込んで下さい。



- ・ (5x8mm pin) は垂直に押込んで下さい。
- ・ (デフボール) には必ず (デフルーブ) を多めに塗って下さい。

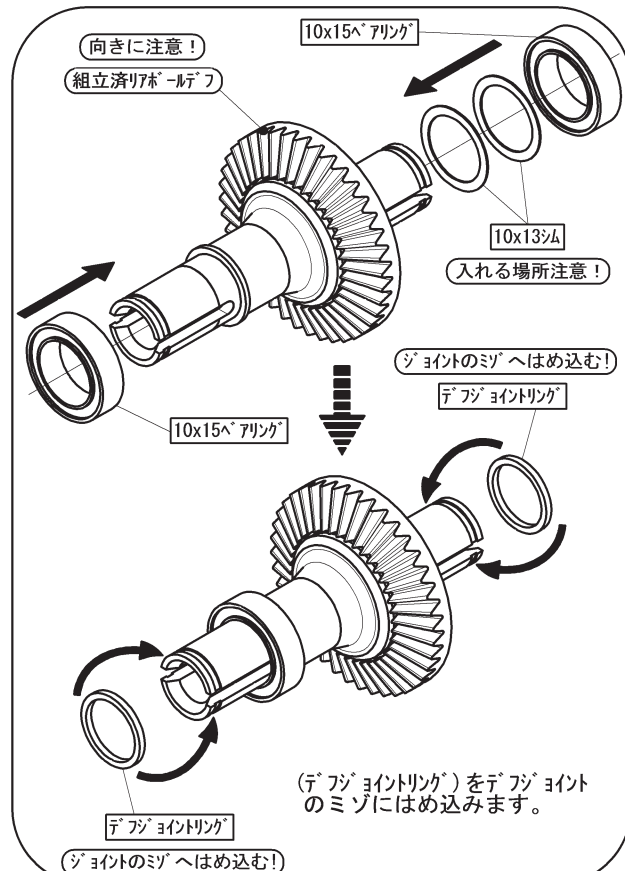


注意! ① (デフリンク), (デフボール) にはサビ止め用のオイルが付いています。そのまま組立てるとスベリの原因になりますので、クリーナー又はシンナーなどで脱脂を行うと、よりスムーズな差動を得る事ができます。

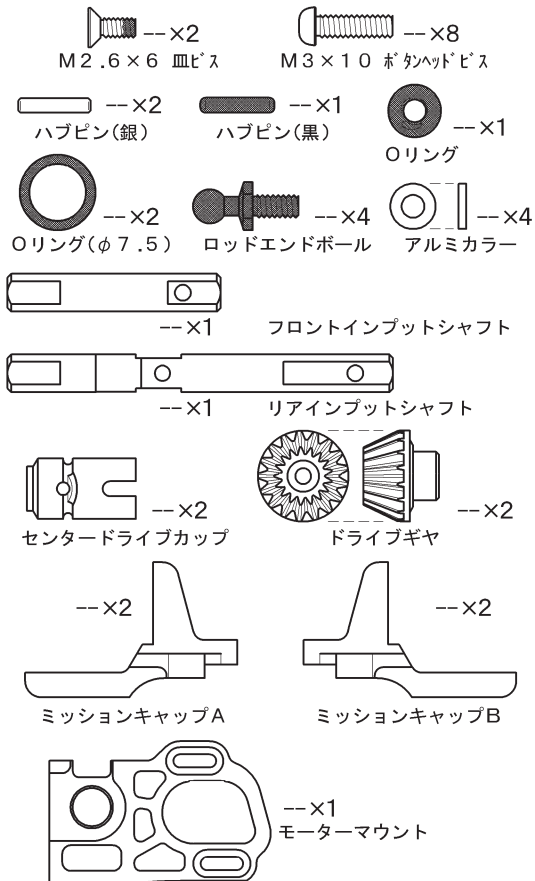
② (デフリンク) には上下の向きがあります。必ず曇りがある面をデフジョイント側、光っている面をボール側に向けて組立てを行って下さい。

③ (デフボール) には (デフルーブ) を、(スラストボール) には (ブラックグリス) を必ず充填して下さい。

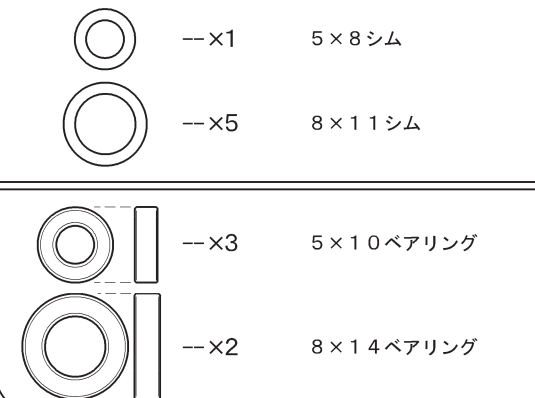
④ (キャップスクリュー) を締込む目安は、図 (A) の様に両方のジョイントにアレンキーを差込み、手でしっかりと固定した状態でリングギヤが回らないポイントまで少しずつ締め込む様にして下さい。
(この調整は目安ですので、実走行でスベリが出ないポイントまで、締め込んで下さい。)



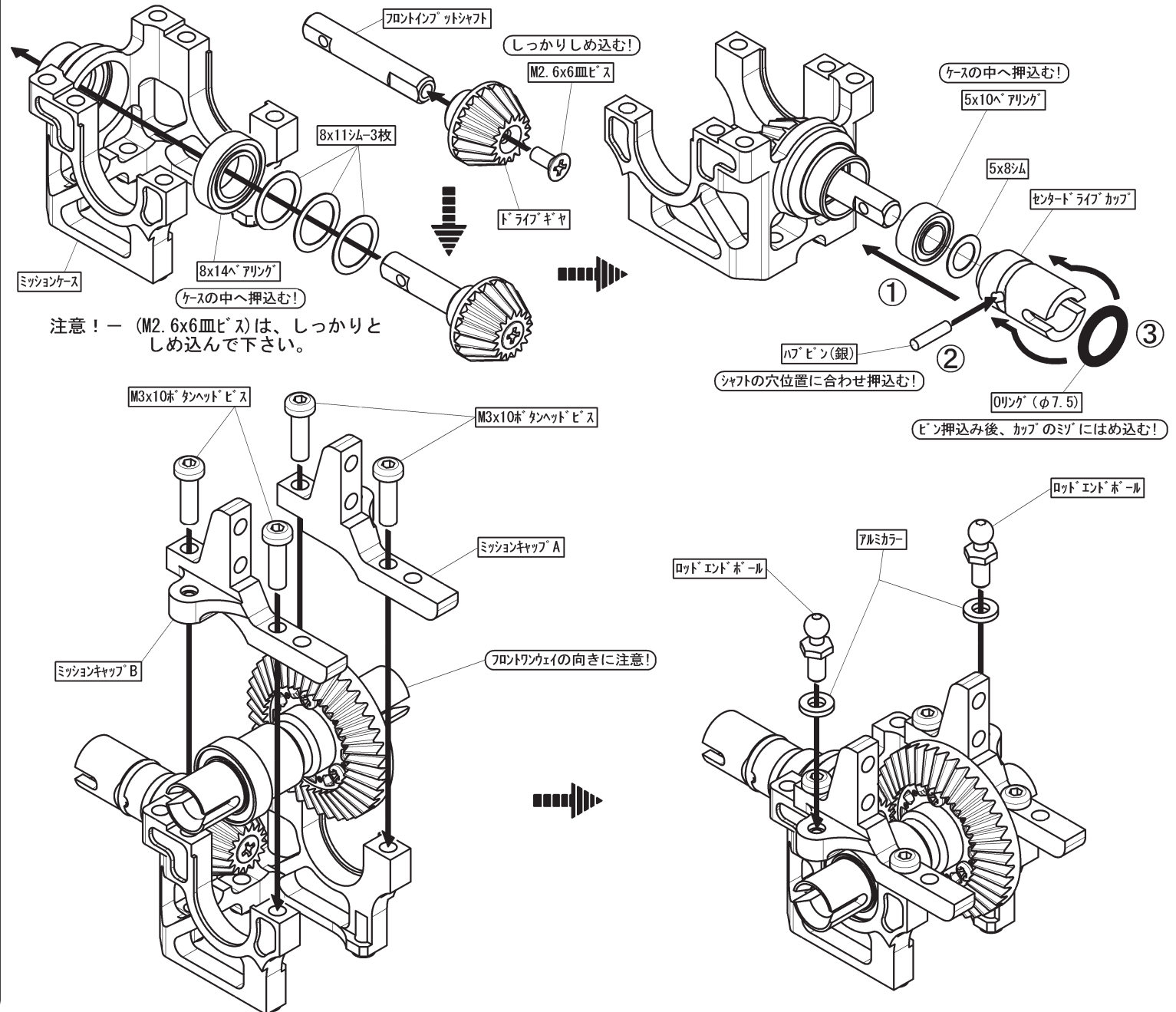
【袋③の内容】



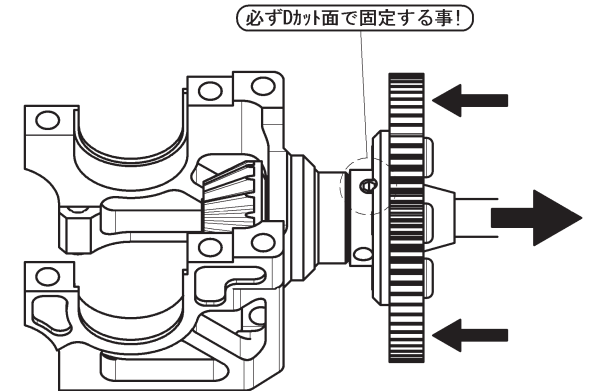
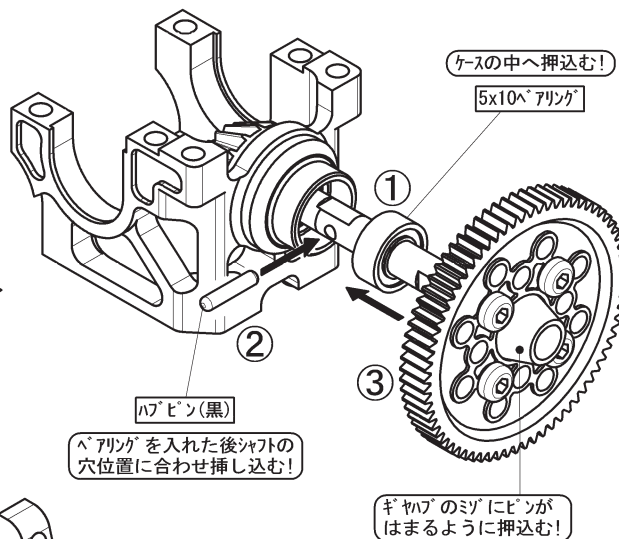
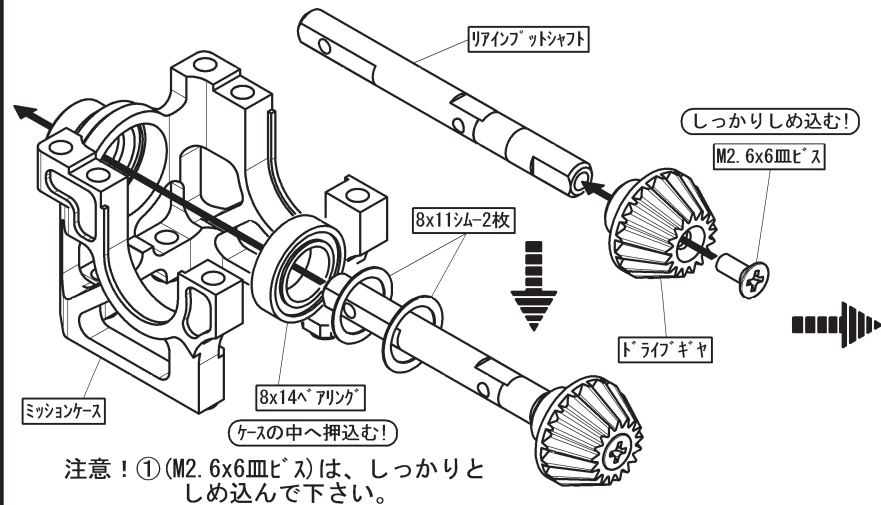
その他、ミッションケース 2ヶ、十字レンチ 1ヶ



5 フロントミッションケースの組立て

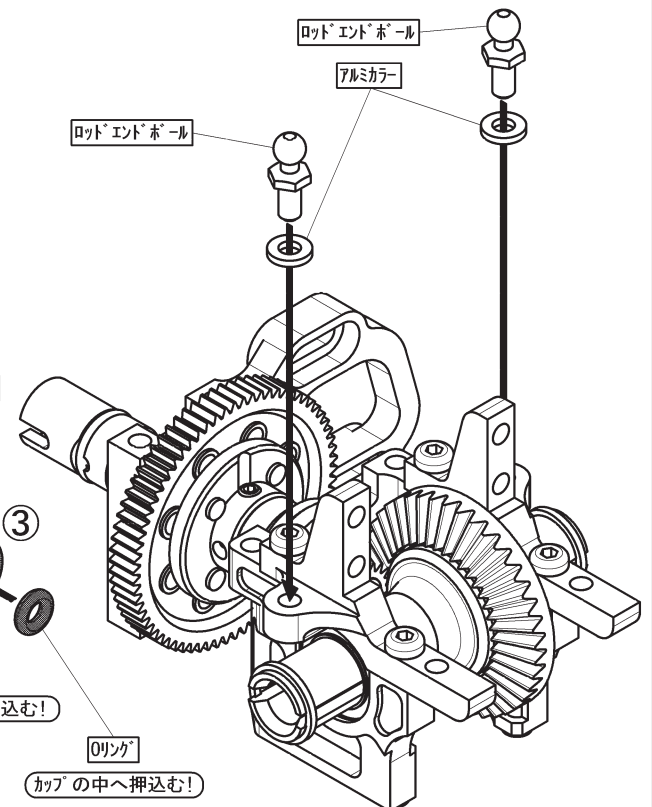
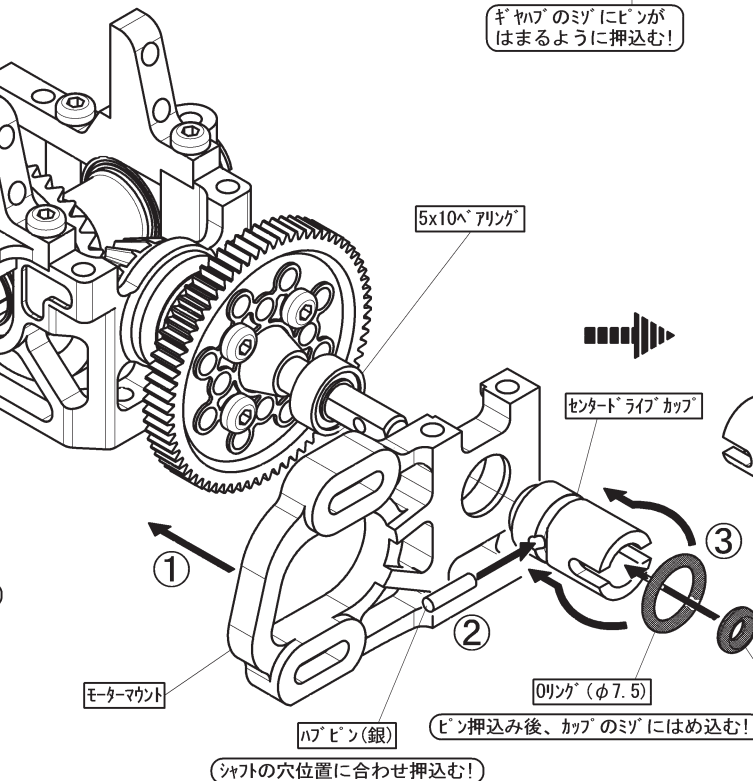
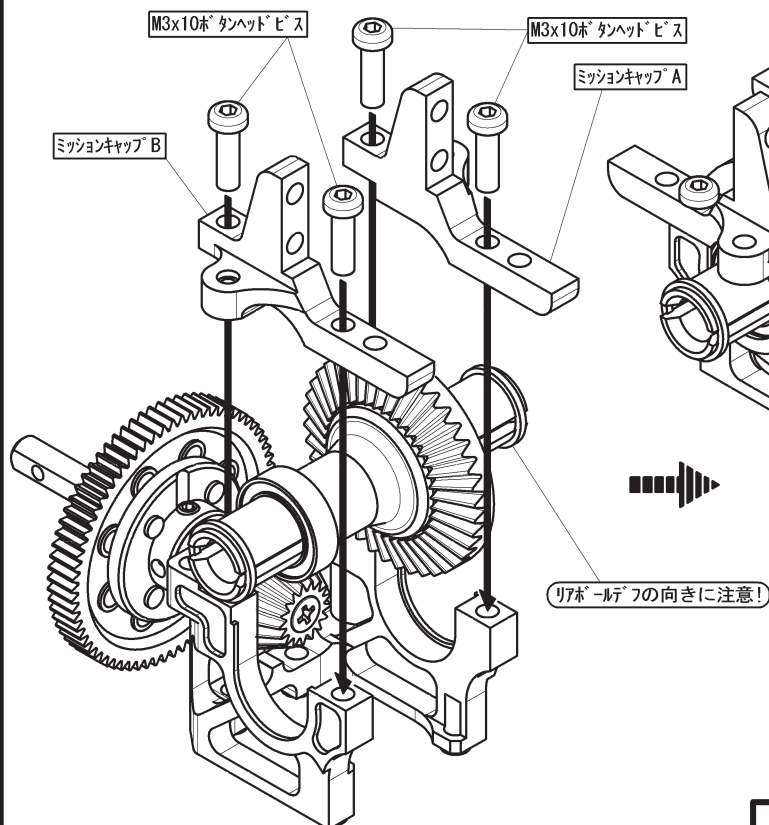


6 リアミッションケースの組立て



シャフトのDカット面にセットスクリューが当たるのを確認後、シャフトを引いた状態でスパーギヤをケース側に押し当てながら、セットスクリューをしめ込み固定させて下さい。

注意! ②(スパーギヤハブ)を固定する(セットスクリュー)は強くしめすぎない様に注意して下さい。(ゆるみ止めに杉ロック剤などを使用して下さい。)



【袋④の内容】

 --×6
  --×2
  --×2
 M3×8 皿ビス M3×5 ボタンヘッドビス M3×6 ボタンヘッドビス

 --×2
  --×2
  --×1
 ワッシャー ロッドエンドボール ロッドエンドボール(黒)

 --×6
  --×1
 ボールエンドキャップ ターンバックルレンチ

 --×3
 27mm ターンバックル

 --×2
 ペルクランク

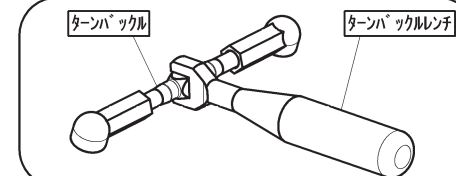
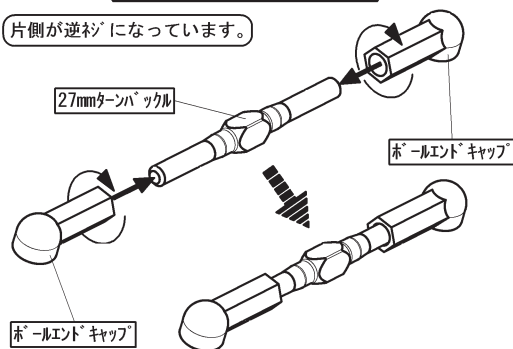
--×1 ステアリングラック

 --×2
 3×6 フランジベアリング

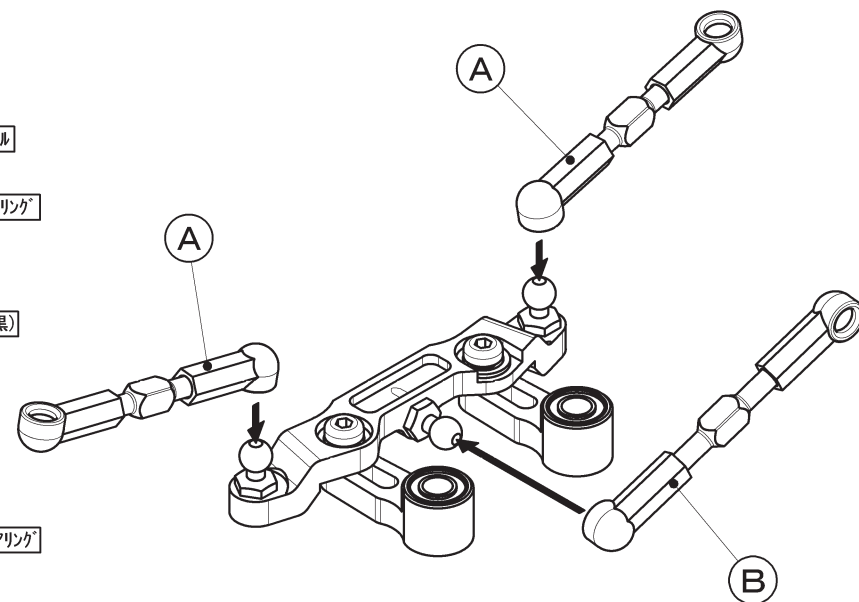
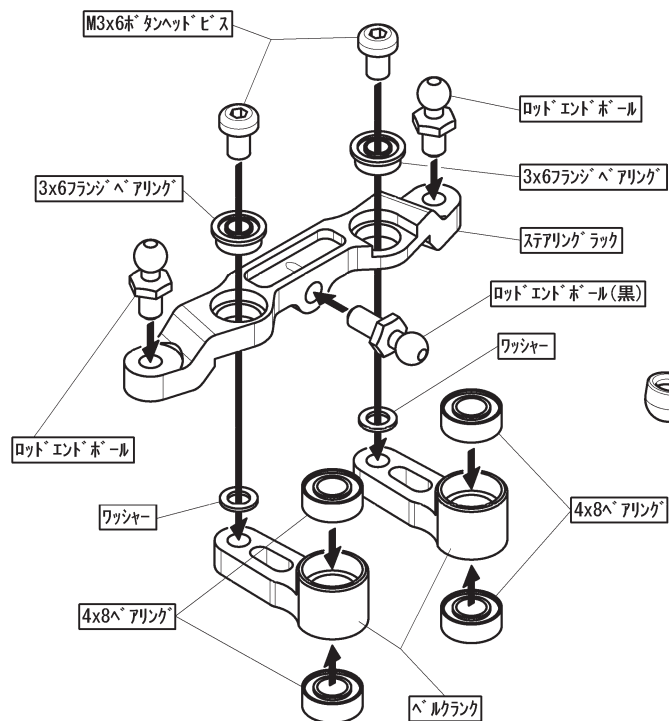
 --×4
 4×8 ベアリング

各タイロッドの組立て

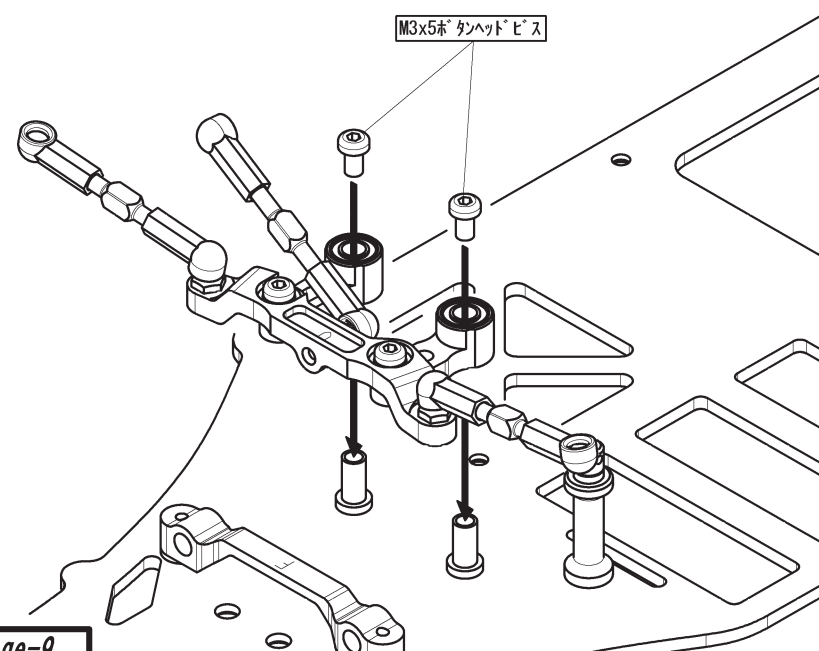
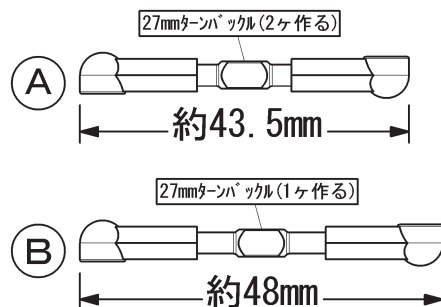
片側が逆斜になっています。



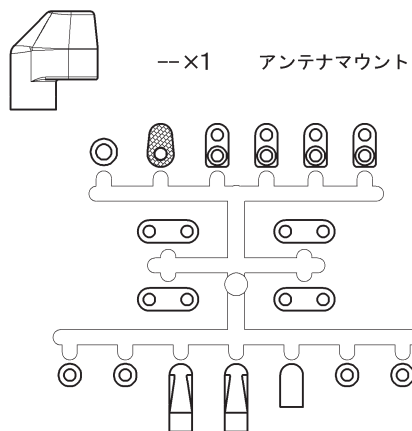
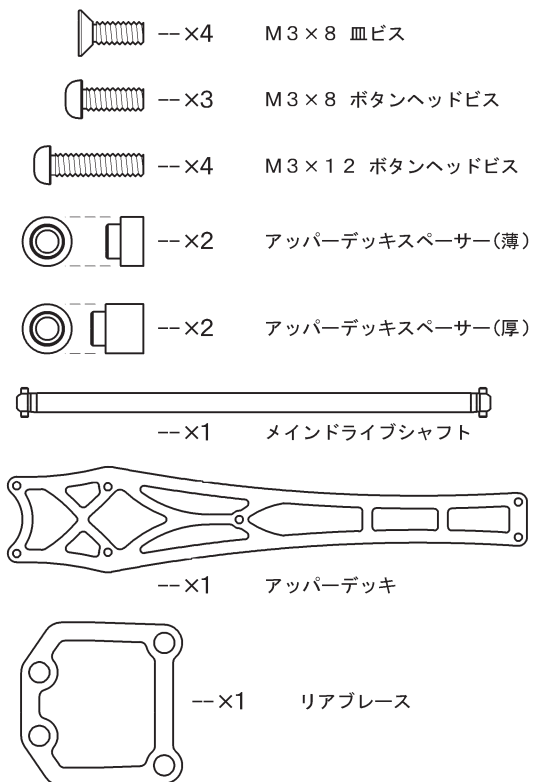
7 ステアリングリンケージの組立て



- ・ターンバックルの両側から(ボールエンド)をねじ込みロッドを組立ます。
- ・各ロッド共、下記寸法で作成して下さい。

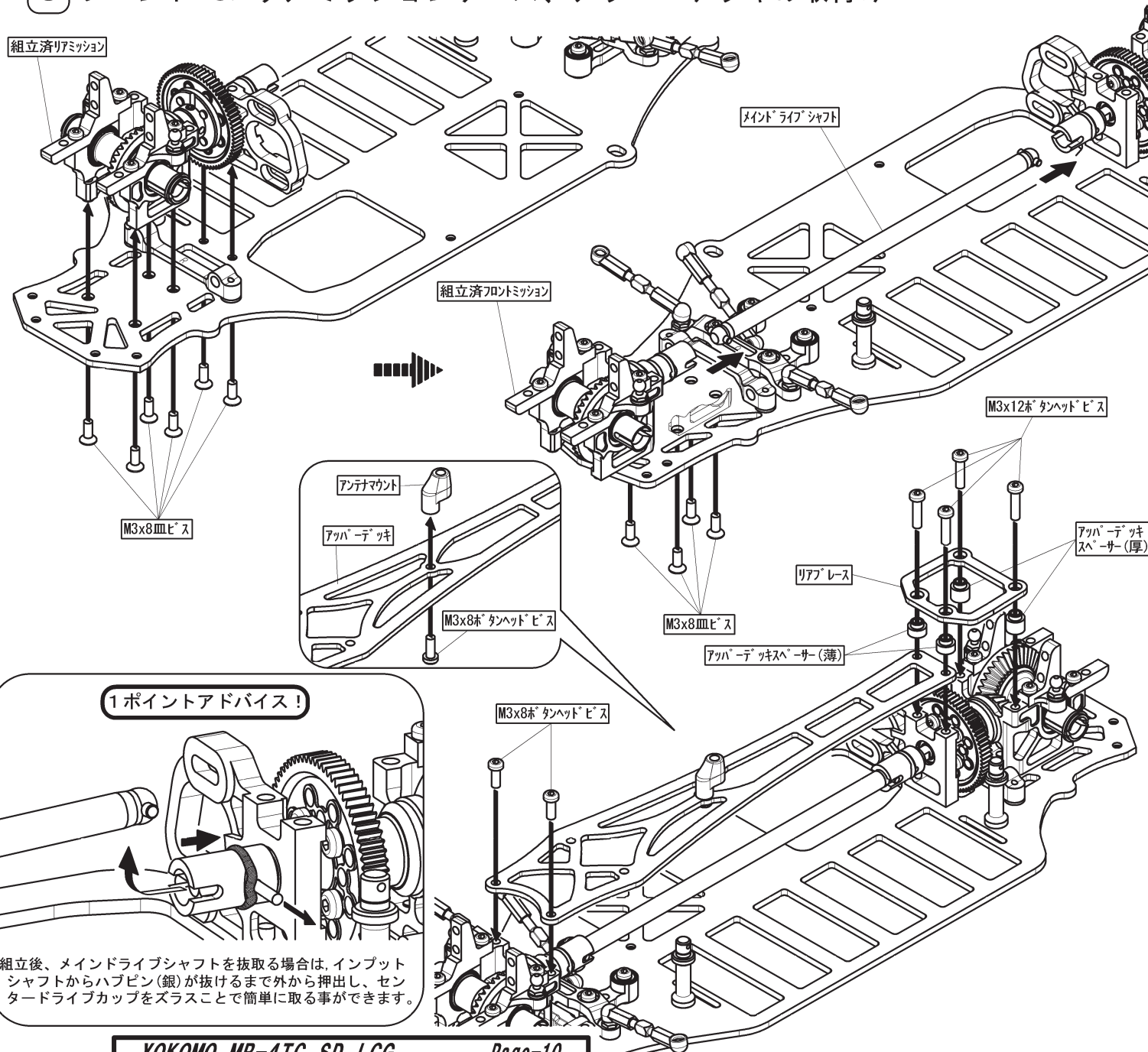


【 袋⑤ の内容 】

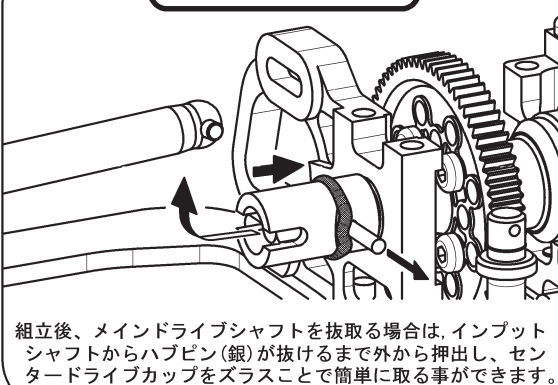


■部の部品を使用します。

8 フロント & リアミッションケース、アッパーデッキの取付け



1ポイントアドバイス！



【袋⑥の内容】

-  --×2 M3×8 キャップスクリュー
-  --×1 M3×3 セットスクリュー
-  --×2 3×6×0.5 ワッシャー
-  --×1 30T ピニオンギヤ
-  --×1 ボール付アレンキー(2.5mm)

9 モーター、ピニオンギヤの取付け

- ② (M3x10キャップスクリュー)に
(3x7x0.5ワッシャー)を通し
モーターを仮止めする。

- ① (30Tピニオン)に(M3x3 セットスクリュー)をねじ込み
モーターの"D"カット面に合わせてピニオン
を仮止めする。

別途ご用意下さい。

モーター

30Tピニオンギヤ

3x3セットスクリュー

仮止程度にねじ込む!

3x6x0.5ワッシャー

M3x8キャップスクリュー

注意! ①キットには、モーターは含まれておりませんので、別途
ご用意下さい。

- ②ピニオンの取付けは、モーターシャフトの"Dカット"
されている部分に、セットスクリューが当たる様に
しっかりと締め込んで下さい。
- ③バックラッシュは少し隙間が出る程度に調整して下さい。
(調整不足は、ノイズ及びギヤ破損の原因になります。)
- ④付属のボール付アレンキー(2.5mm)のボール部は仮止め
程度の作業でご使用下さい。本締めなどを行う場合は、
必ず反対側フラット部で行って下さい。
- ⑤連続走行はモーターに必要な以上の負荷を掛けるだけでなく
寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから
走行をさせて下さい。

- ③ スパーギヤの歯幅にかみ合うようにピニオンギヤの
位置を調整し、セットスクリューを本締めする。
バックラッシュを合わせ、キャップスクリュー
2本を本締めする。

【袋⑦の内容】

M3×8皿ビス --×2 M3×8ボタンヘッドビス --×2 3x7x0.5ワッシャー --×2

M3×10ナベビス --×1 M3x10タッピンビス --×1 M2.6x10タッピンビス --×1

ロッドエンドボール --×1 サーボマウント --×2

サーボホーンプレート --×1

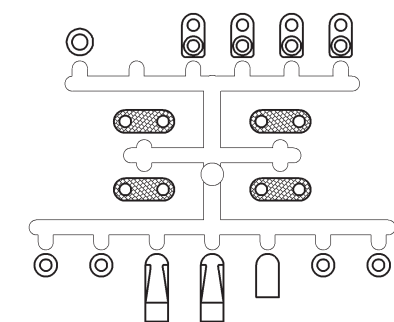
サーボホーンアッパー --×1

サーボホーンリング --×1

サーボホーンローア --×1

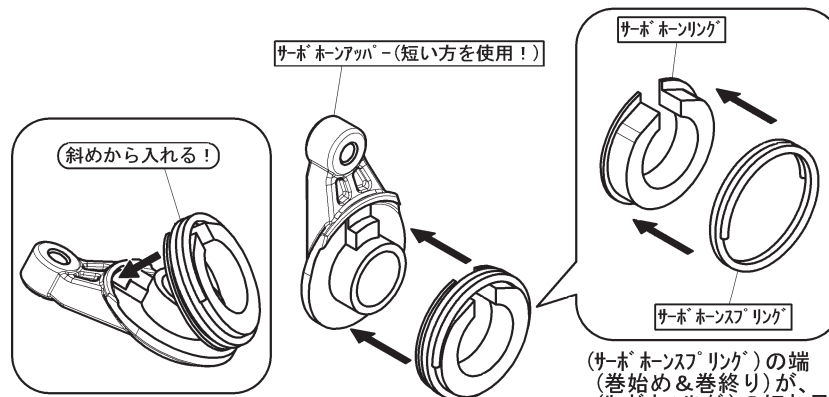
サーボホーンスプリング --×1

サーボマウントスペーサ --×1

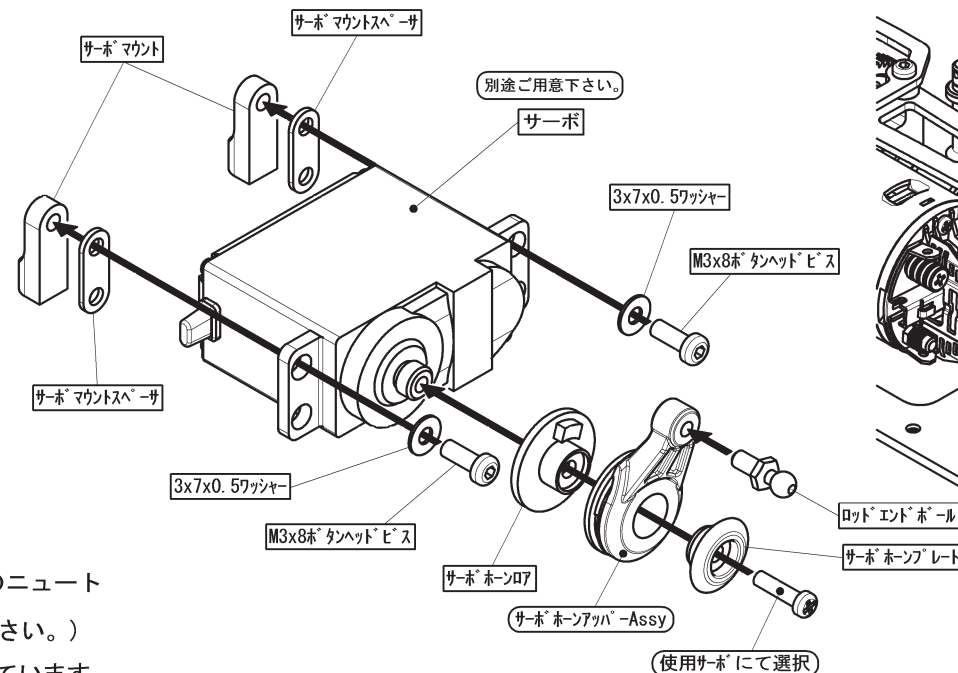


■部の部品を使用します。

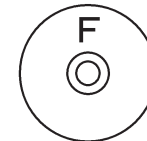
10 サーボセーバー、サーボの取付け



(サーボホーンアッパー)は2種類付属されていますが、全長の短い方を使用します。(サーボホーンリング)のはめ込みが固い場合は、イラストの様に斜めから入れて下さい



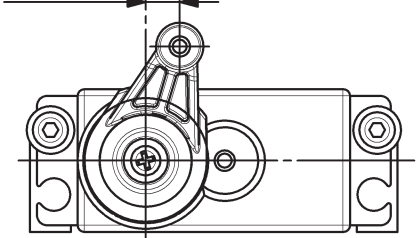
シャーシにサーボを取付けたら、Bロッドをロッドエンドボールにはめ込んで下さい。



刻印	メーカー
F	フタバ
H	ハイテック
J K S	J R, K O, サンワ

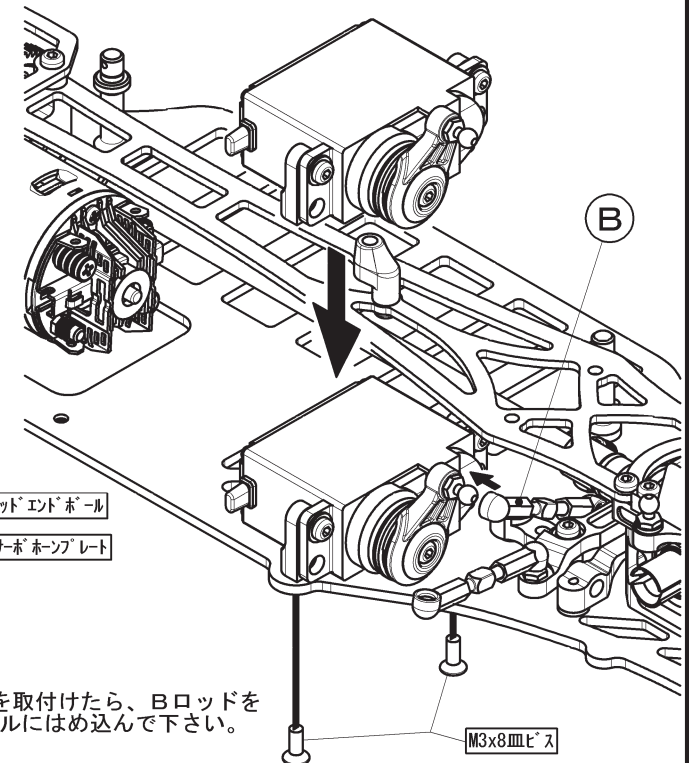
付属の(サーボホーン)には刻印が入っています。ご使用になるメーカーに合わせてお選び下さい。

約5mm



サーボのニュートラルを出した後、イラストのようにサーボホーンを約5mm(1山分)ずらして取付けて下さい。

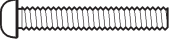
注意! ①サーボホーンを固定するビスは、使用するサーボに付属されているネジ部と同タイプのビスを使用して下さい。(本キット付属のビスは、トラスM2.6x10タッピンビス、M3x10タッピンビス、M3x10ナベビスの3種類です。)

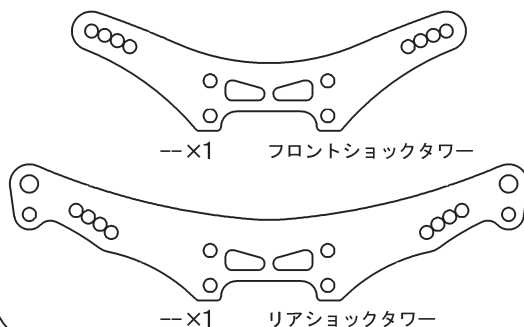


注意! ②(サーボホーン)を取付ける前に必ず、サーボのニュートラルを出して下さい。(詳しくはプロポセットの説明書をご覧ください。)

③キット付属の(サーボホーン)は3種類用意されています。必ずご使用になるサーボ(メーカー)に合ったホーンをお使い下さい。(形が合わないサーボホーンを使うとサーボに無理な力が掛かり、故障の原因になります。)

【 袋-⑧ の内容 】

-  --×8 M3×8 ボタンヘッドビス
-  --×4 M3×20 ボタンヘッドビス
-  --×4 M3 平ナット
-  --×4 36mm ターンバックル
-  --×8 ボールエンドキャップ



フロントショックタワー



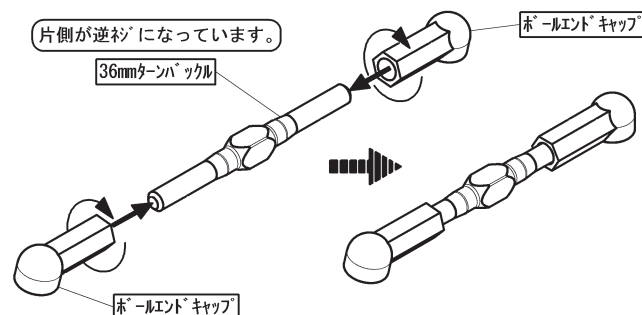
●部の穴を使用します。

リアショックタワー

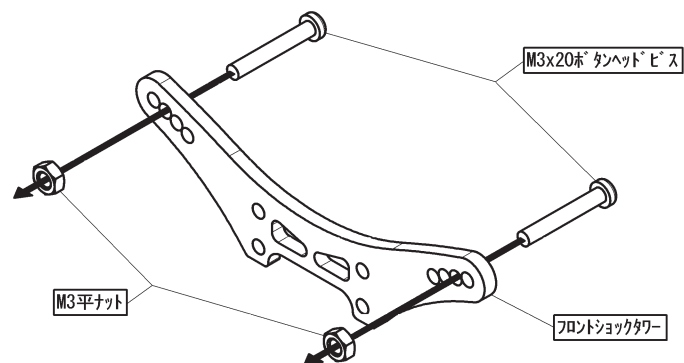


●部の穴を使用します。

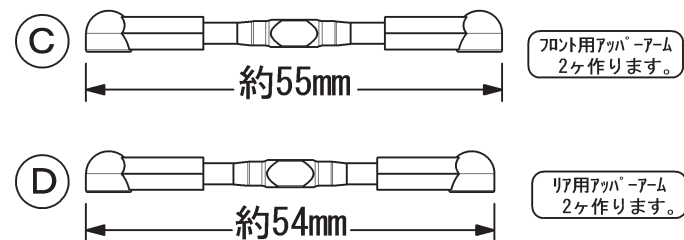
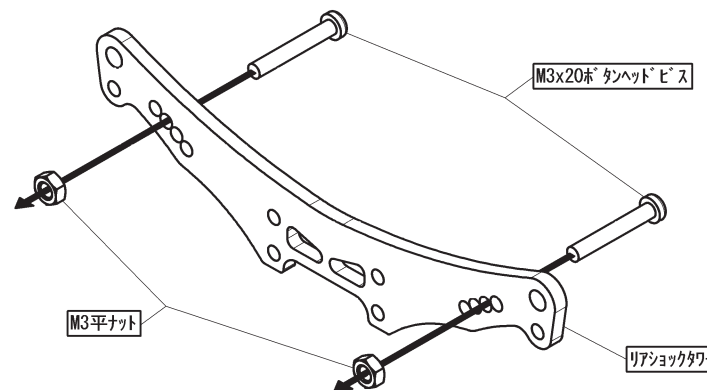
11 前後ショックタワーの取付け



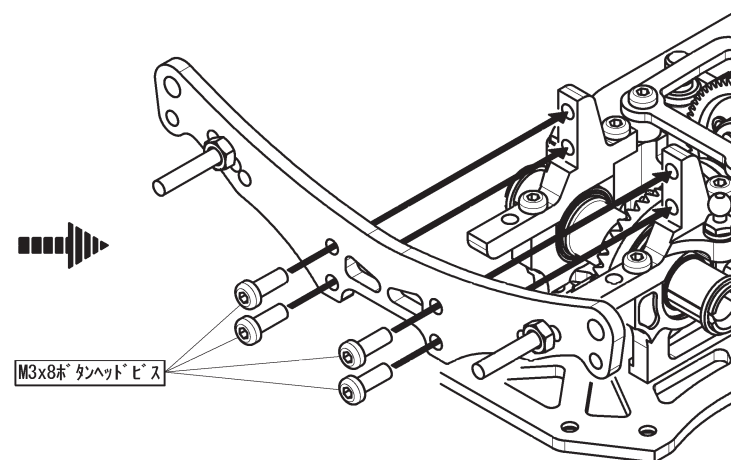
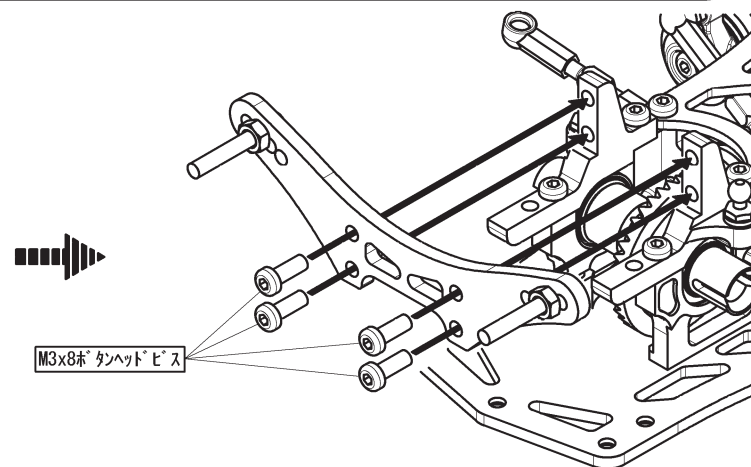
フロントショックタワーの取付け



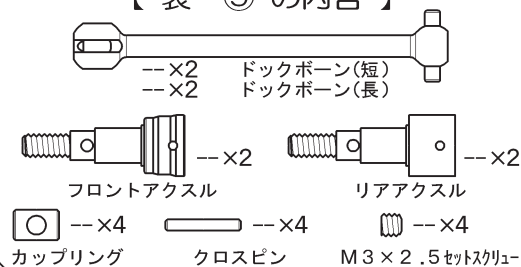
リアショックタワーの取付け



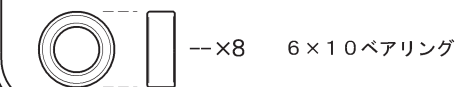
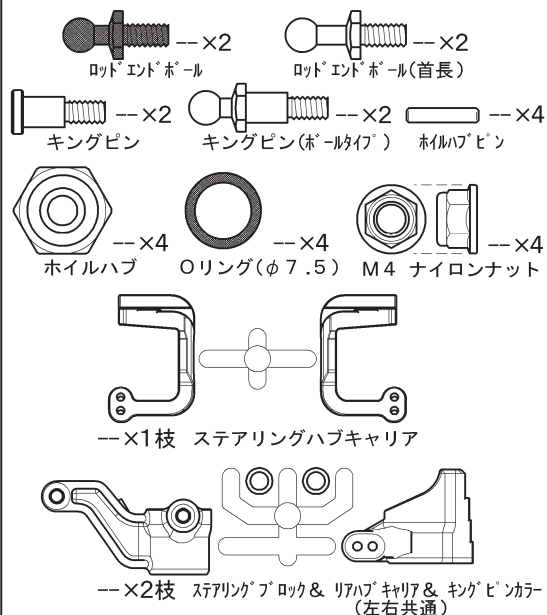
フロント用、リア用共ボールエンドキャップの向きは、取付時に調整して下さい。



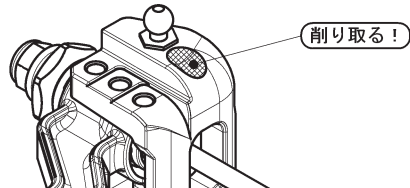
【袋⑨の内容】



【袋⑩の内容】



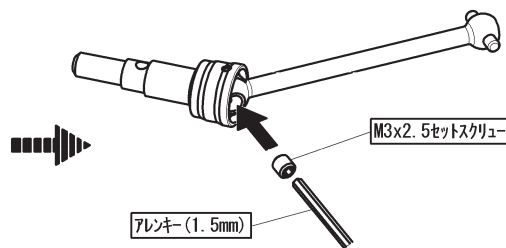
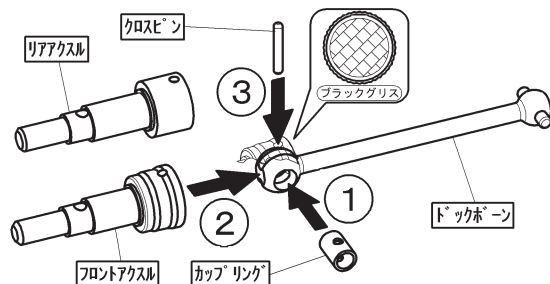
フロントアッパーアームを取付ける際にハブキャリアと若干干渉しますので、イラストで示す部分をアッパーアームが当たらないように削り取って下さい。



12 フロント&リアハブキャリアの組立て

ユニバーサルシャフトの組立て

フロント用、リア用と同じように2セット作ります。



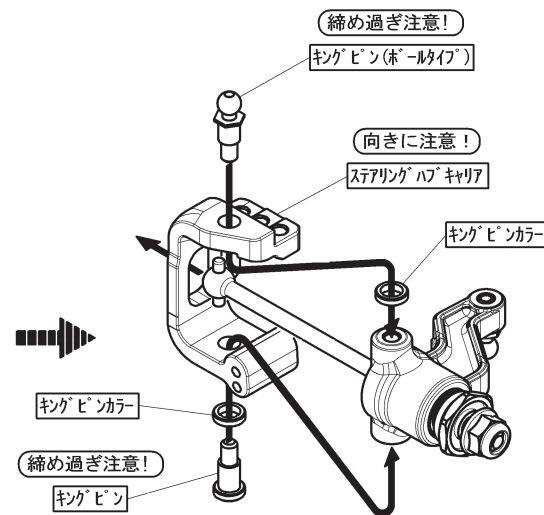
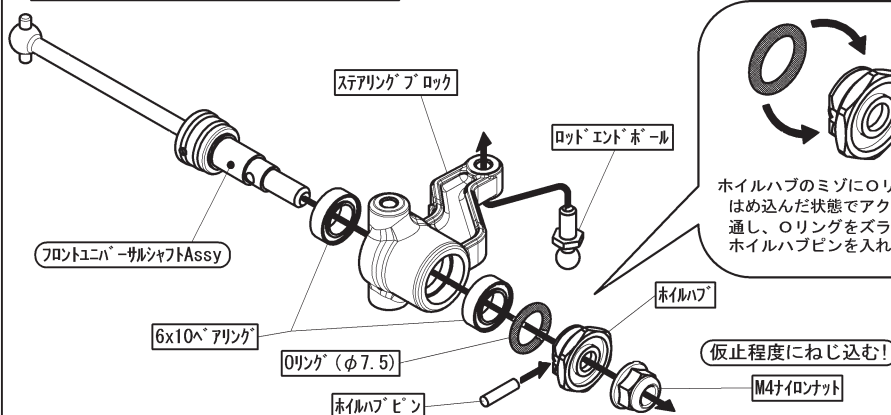
注意！①アクスルにドックボーンをはめる時は必ずブラックグリスを塗って下さい。

ドックボーン	
フロント用	長い
リア用	短い

※必ず表の組合せで組立てる事。

フロントハブキャリアの組立て

2セット作ります。(ステアリングハブキャリアには左右あり)

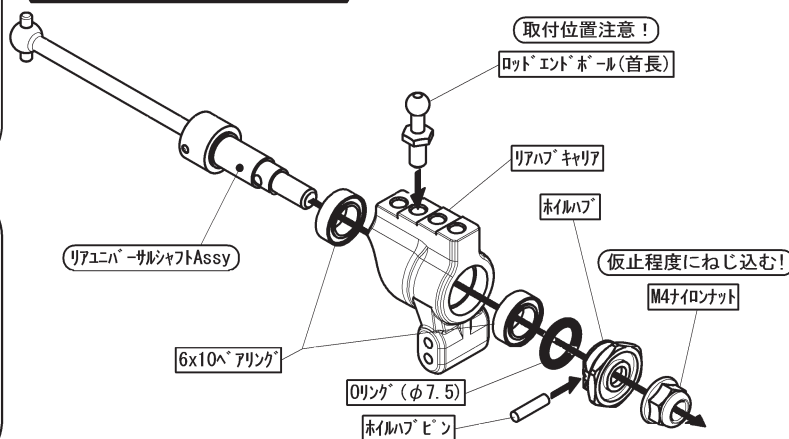


注意！②(ステアリングハブキャリア)は左右があります。

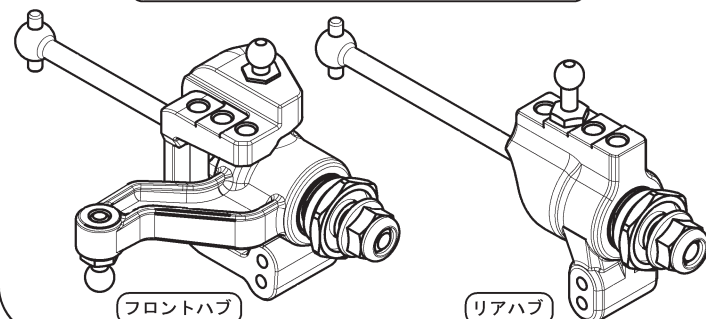
③(キングピン)下側を取付ける時は(キングピンキャリア)を押さずささない様注意して締め込んで下さい。(つぶれてしまうと動きが悪くなります。)

リアハブキャリアの組立て

2セット作ります。



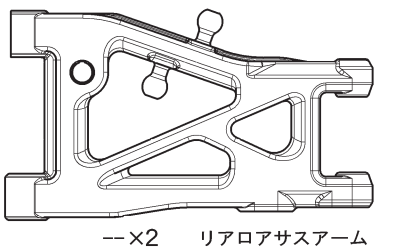
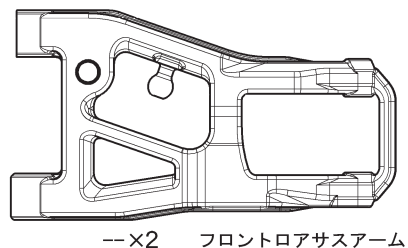
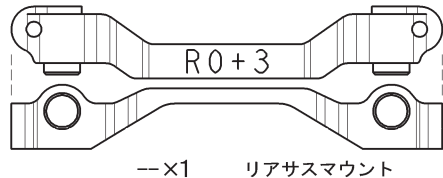
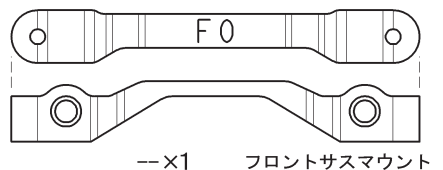
【反対側も対称に組立てます。】



【 袋-⑪ の内容 】

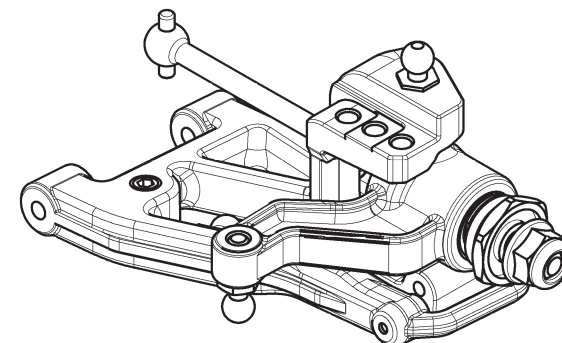
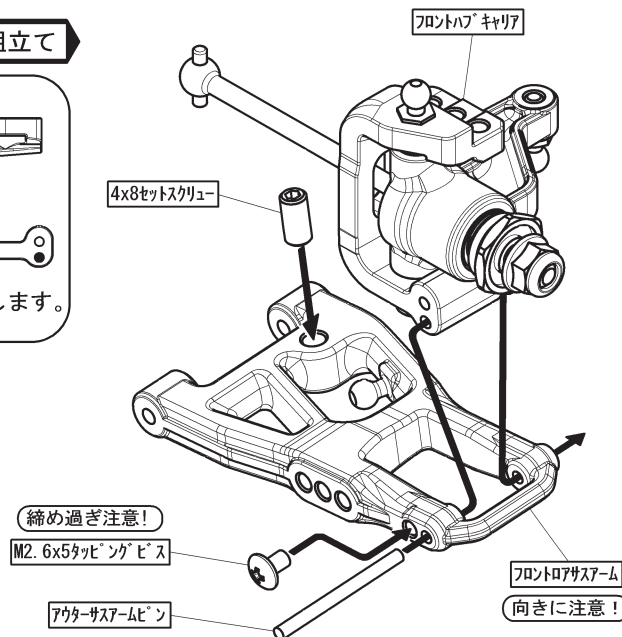
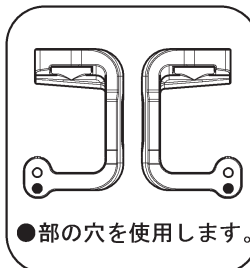
- ×4 M3×8 皿ビス
- ×4 M2.6×5 タッピングビス
- ×4 M4×8 セットスクリュー
- ×4 アウターサスアームピン

- ×4 インナーサスアームピン
- ×8 インナーサスアームピン用ボール
- ×4 ロアサスアームスペーサー (4mm) (サスアームに付属)
- ×4 サスマウントスペーサー

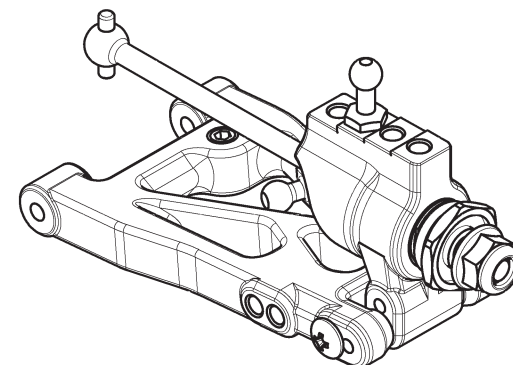
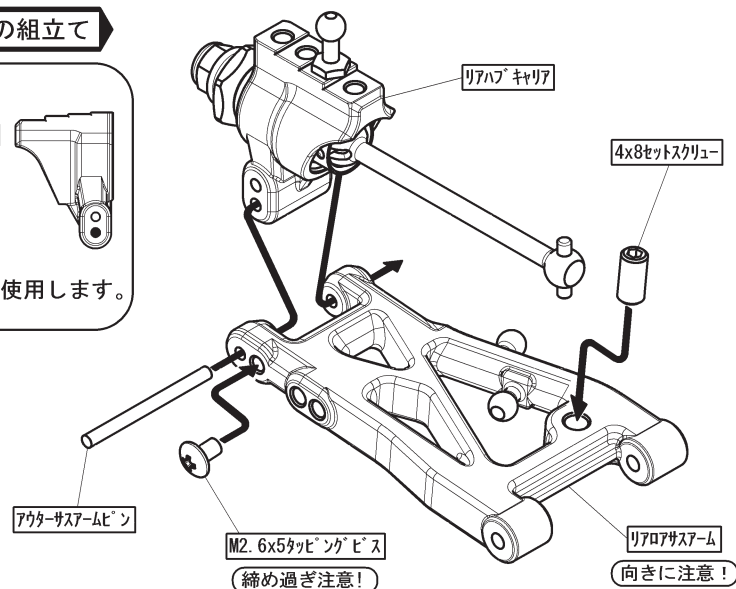
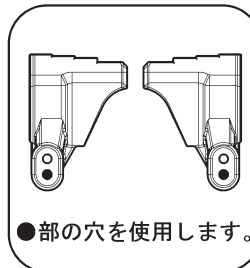


13 フロント&リアロアサスアームの組立て

フロント側の組立て



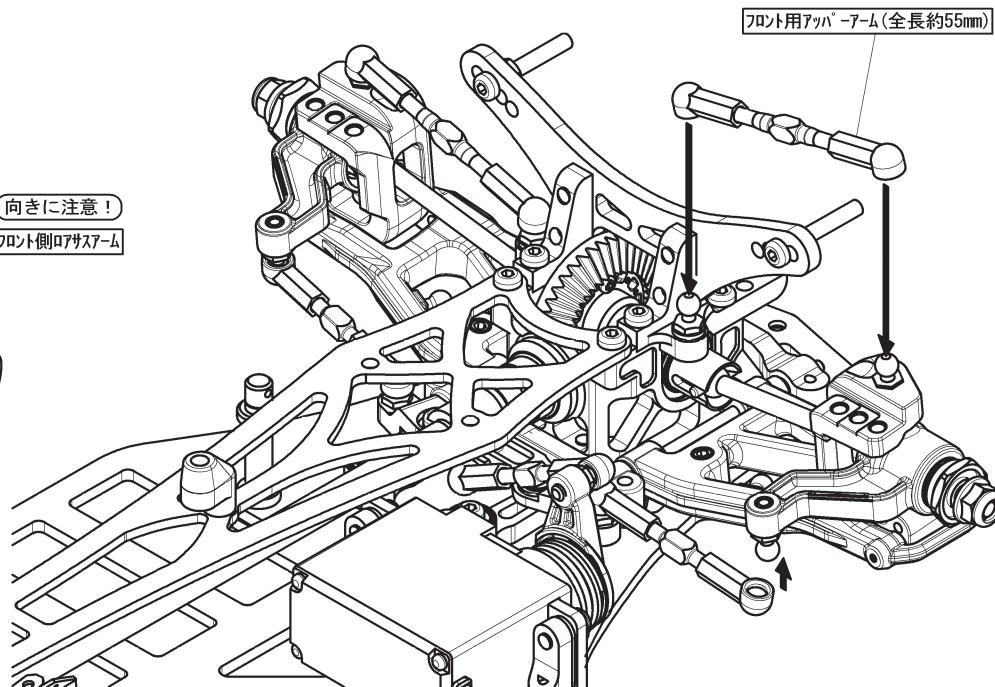
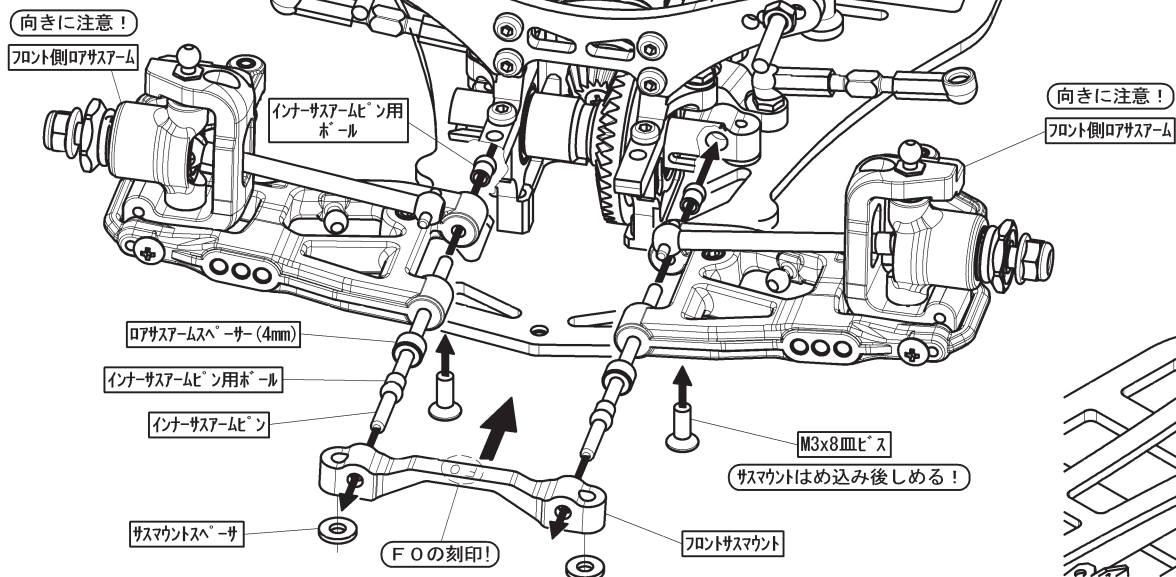
リア側の組立て



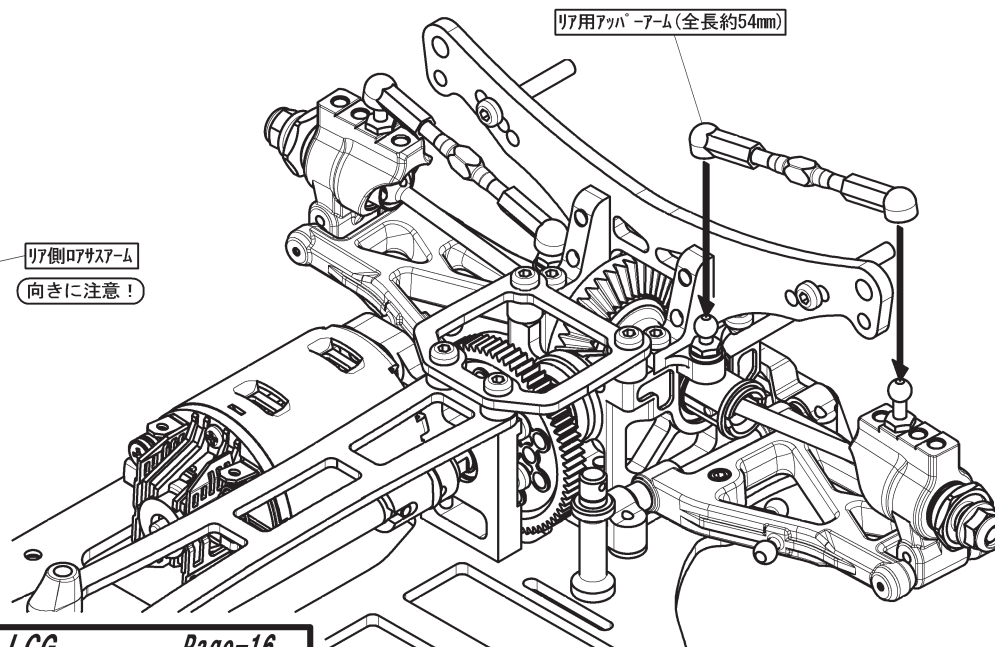
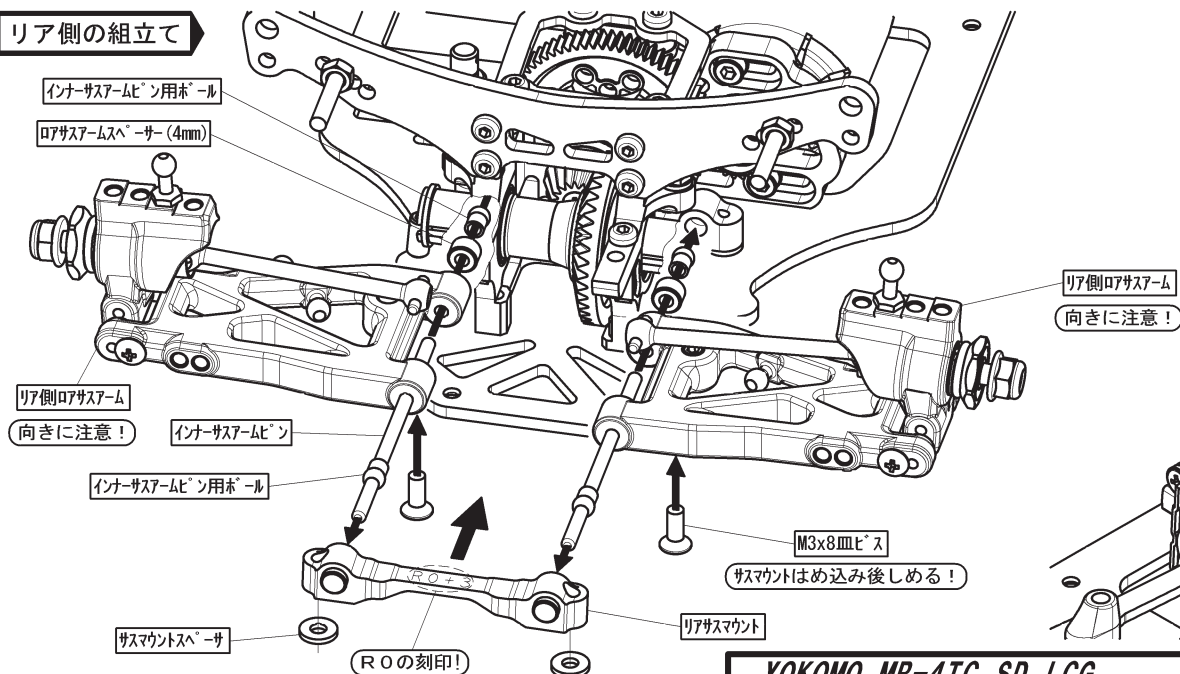
【 反対側も対称に組立てます。 】

14 ロアサスアームの取付け

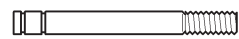
フロント側の組立て



リア側の組立て



【 袋-12 の内容 】



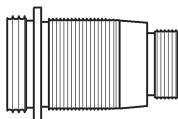
--×4 ショックシャフト



----×8 2mm Eリング



--×2 ショックスプリング(ホワイト)
--×2 ショックスプリング(ブルー)



--×4 ショックシリンダー



----×4 Oリングキャップ



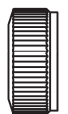
----×4 Oリング(透明)



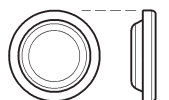
----×4 Oリング



----×4 キャップエンド



----×4 キャップナット

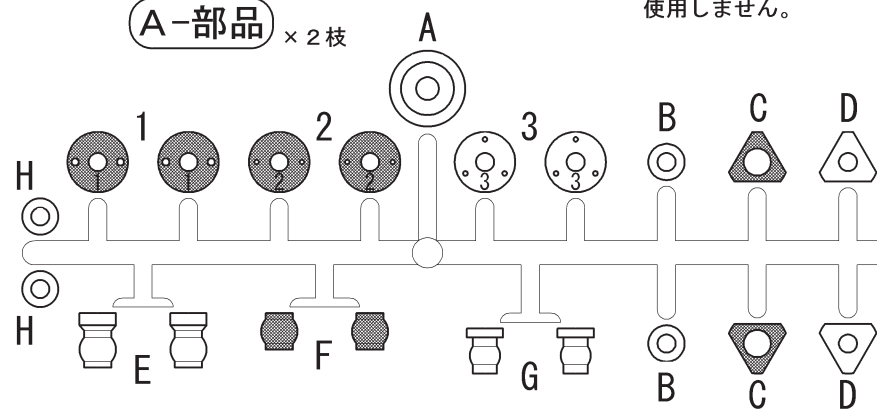


----×4 ダイアフラム



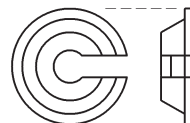
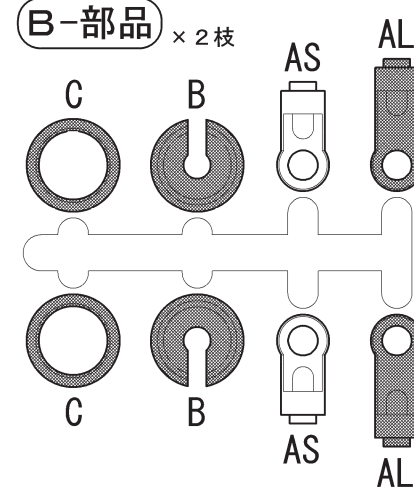
----×4 インナースポンジ

A-部品 × 2 枝

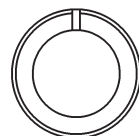


部の部品は
使用しません。

B-部品 × 2 枝



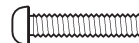
----×4 スプリングカップ



----×4 アジャストナット



----×4 Oリング(φ12)



----×4 M3×15 ボタンヘッドビス

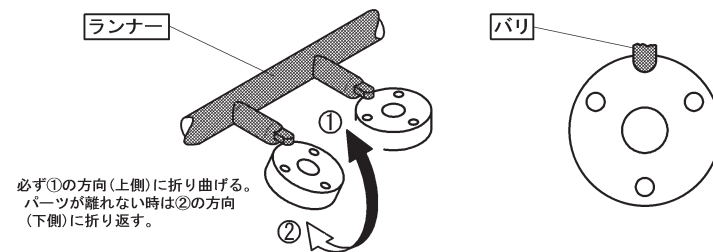


----×4 M3ナイロンナット

その他、ショックオイル 1ヶ

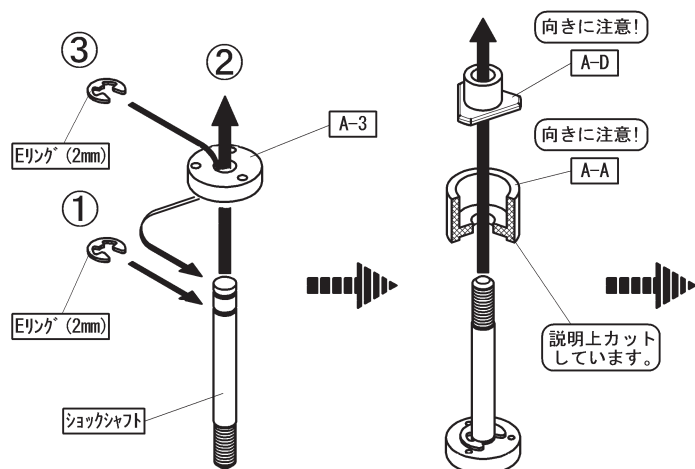
注意！①ダンパーは非常に多くのパーツ類から構成されています。
組立てる際には、間違えのないよう注意して下さい。

【ランナーから使用するパーツを切り離す】 【バリはカッターで切り落とす】



注意！②ランナーからパーツを切り離す際は、図の様に
折り曲げ、もしくはニッパーなどで切り離して下さい。なお、
パーツにバリなどが残ってしまった場合は、カッターなどで丁寧に
切り落として下さい。

15 ダンパーの組立て(4本作ります。)

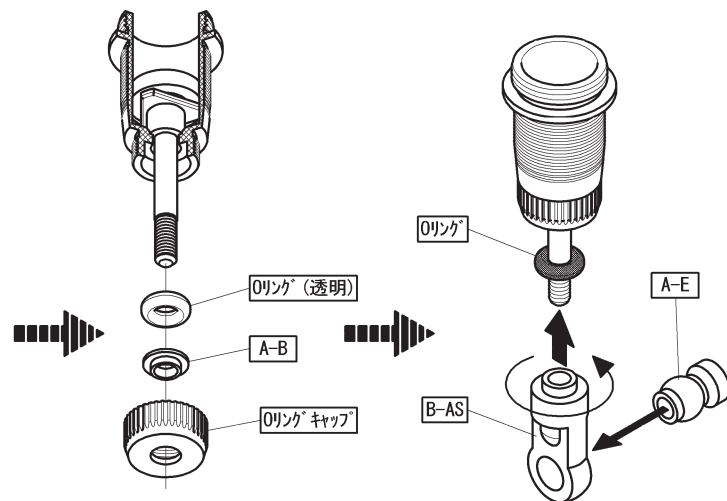


・(ショックシャフト)に(2mmEリング)、(A-3)ピンを番号通りにはめ込む。

・ショックシャフトASSYに上記パーツを通す。(パーツの向きに注意！)

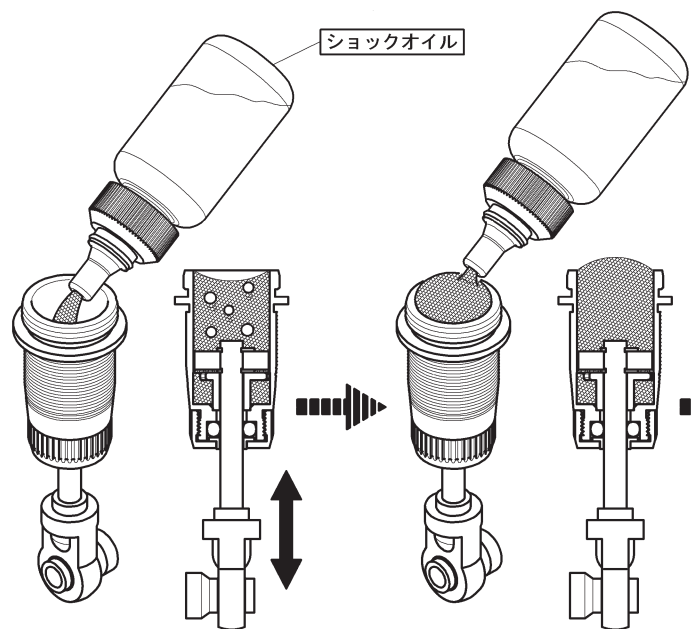
・ショックリンダーにショックシャフトASSYを入れシャフトをいっぱいまで引く。

・ショックリンダーからシャフトASSY、(A-A)押込み用ジグを取り出し、シャフトASSYのみショックリンダーに戻す。



・Oリング(透明)、(A-B)をショックリンダーにはめ込み、Oリングキャップをねじ込む。(シャフトの斜部で(Oリング)にキズを付けないよう注意！)

・ショックシャフトに(Oリング)を通し(B-AS)をねじ込み(A-E)をはめ込む。



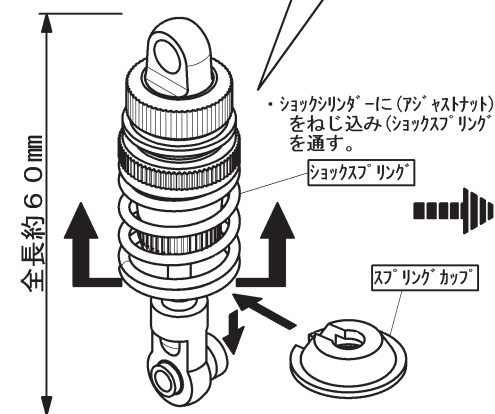
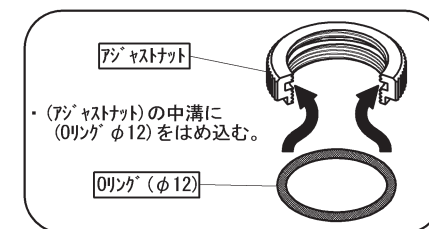
・ショックリンダーにショックオイルを入れ、シャフトを上下にゆっくりと動かし気泡を抜く。

・リンダーの口元いっぱいまでショックオイルを入れる。(気泡を入れないように注意！)

・ショックリンダーにティッシュペーパーを巻き付け(タイヤフロム)をいっぱいまでかぶせ(インナーリング)を体ミに置く。

・(キャップエンド)に(キャップナット)を被せ、しめ込む。

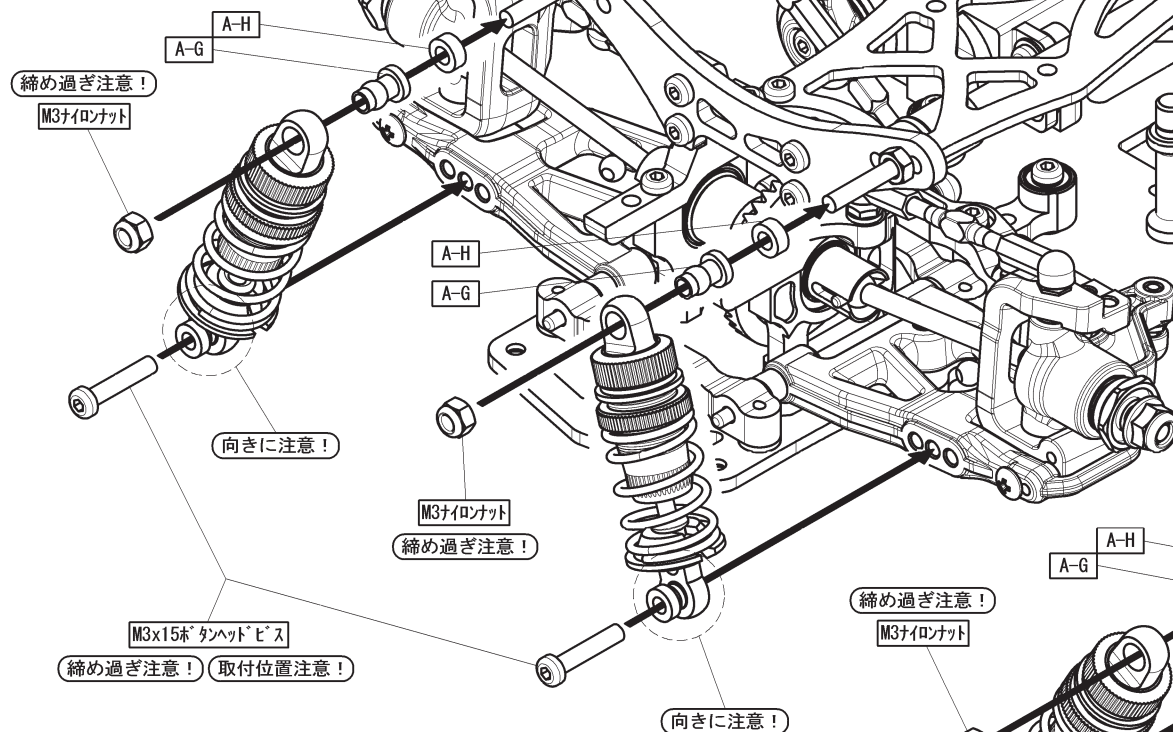
・(ショックリング)を押上げながら(スプリングキャップ)をシャフトにはめ込む。はめ込んだ状態でダンパー全長を測り約60mmになる様に(B-AS)のねじ込み量を調整する。(全長を測る時は必ずシャフトが全て伸びた状態で行って下さい。)



ダンパーの完成！

16 前後ダンパーの取付け

フロント側取付(ホワイト)



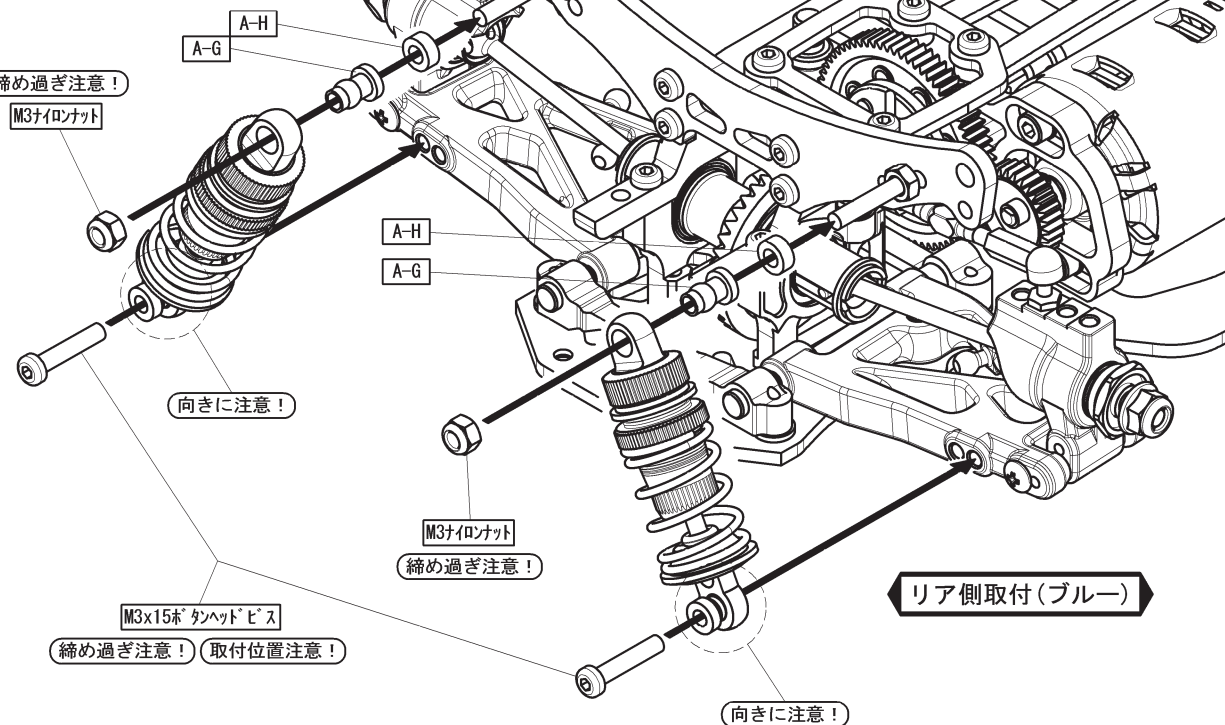
注意！一前後ダンパーを固定するナベビス、ナイロンナットは軽く締まる程度に締めて下さい。
(締めすぎると樹脂のボールが潰れ、動きが悪くなります。)

【このページの使用パーツ】

-  —×4 M3×15 ボタンヘッドビス
-  —×4 M3ナイロンナット

〔A-部品〕

-  **A-G**×4 ショック用アッパースポール
-  **A-H**×4 スパースー



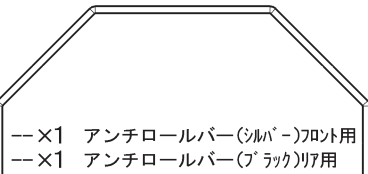
リア側取付(ブルー)

【袋⑬の内容】

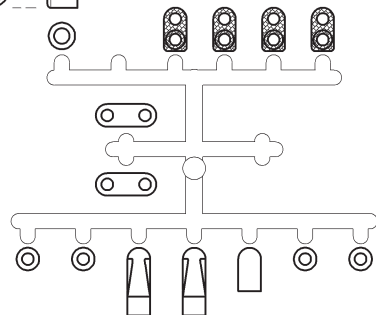
 --×8
  --×4
  --×4
 M3×3セットスクリュー M3×4セットスクリュー M3×12セットスクリュー

 --×4
  --×4
  --×4
 M3×8ボールヘッドピス アンチロールバーボール ストッパー

 --×4
  --×4
 ボールエンド ボールエンドキャップ



 --×4 アンチロールバーホルダー



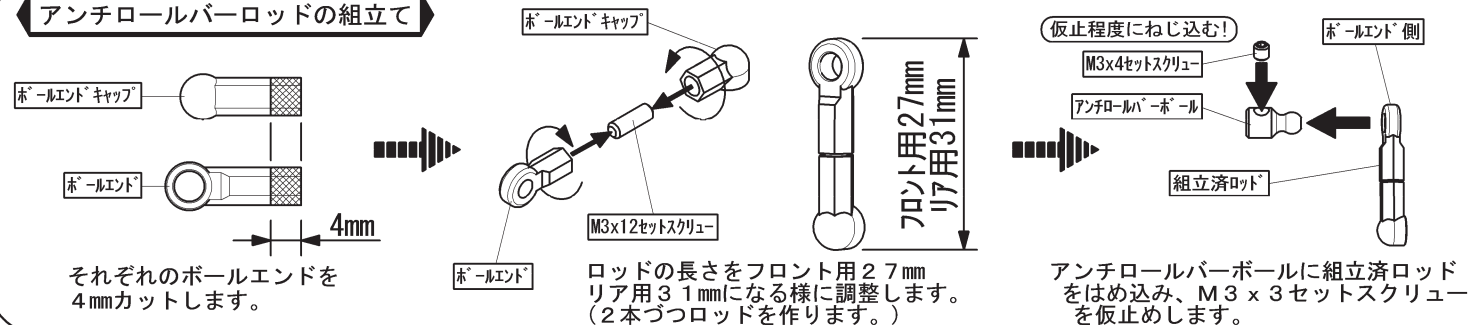
■部の部品を使用します。

前後ロアアームのボール部に組立済ロッドをはめ込みボールエンドの向きを調整します。アンチロールバーをアンチロールバーボールに通し、アンチロールバーホルダーをギャケースに固定します。ホルダーにM3×4セットスクリューをロールバーにガタが出ない程度ねじ込み、ロールバーボールのセットスクリューをねじ込み、ロールバーを固定させます。ロールバーが左右均等になるようにストッパーで固定します。

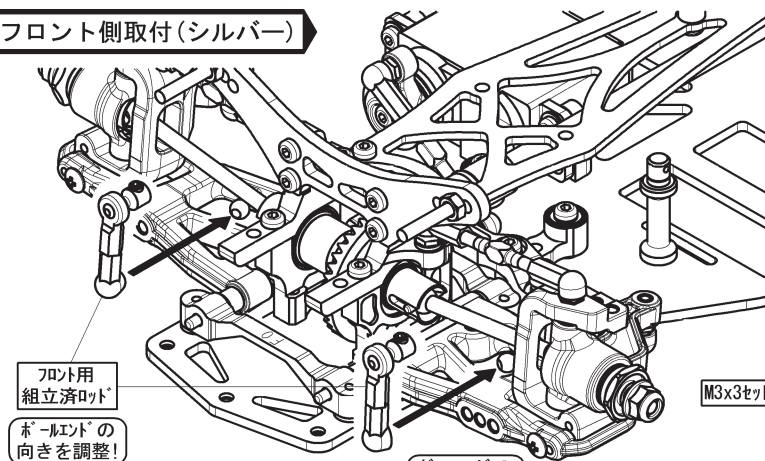
注意！－アンチロールバーホルダーのセットスクリューはしめ過ぎないで下さい。アンチロールバーの動きが悪くなり走行性能に影響します。

17 前後アンチロールバーの取付け

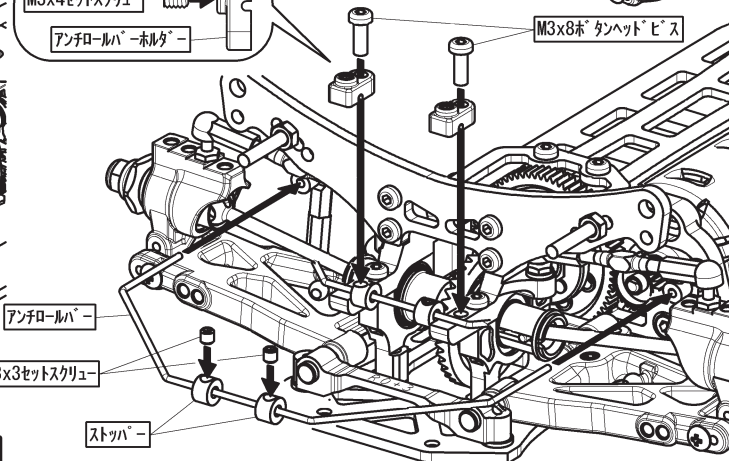
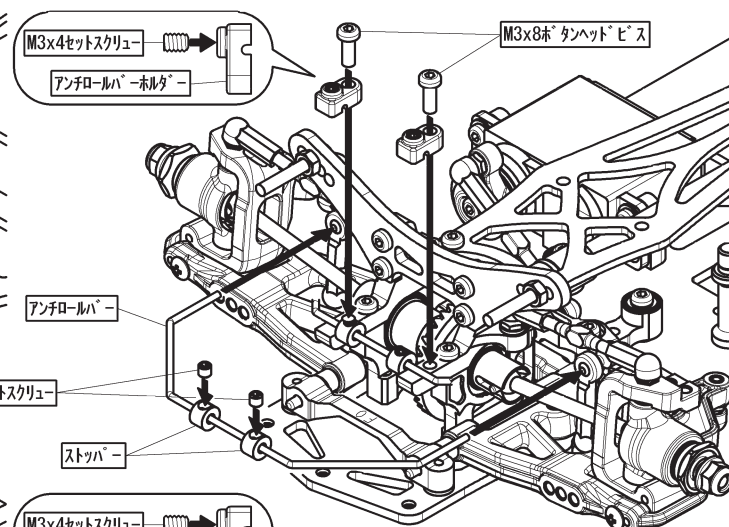
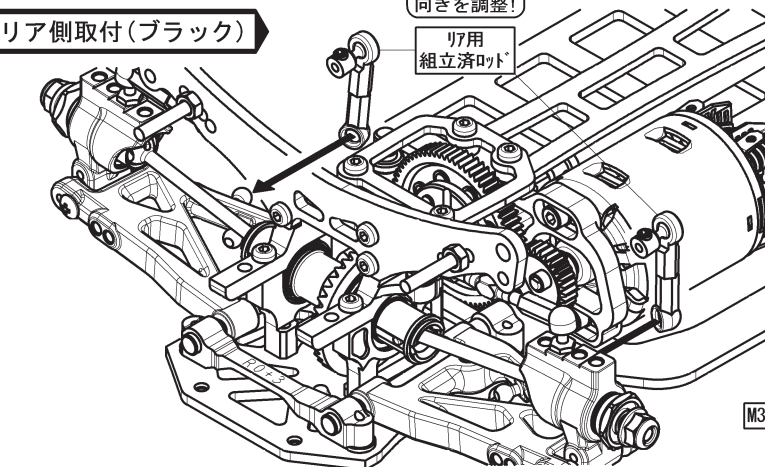
アンチロールバーロッドの組立て



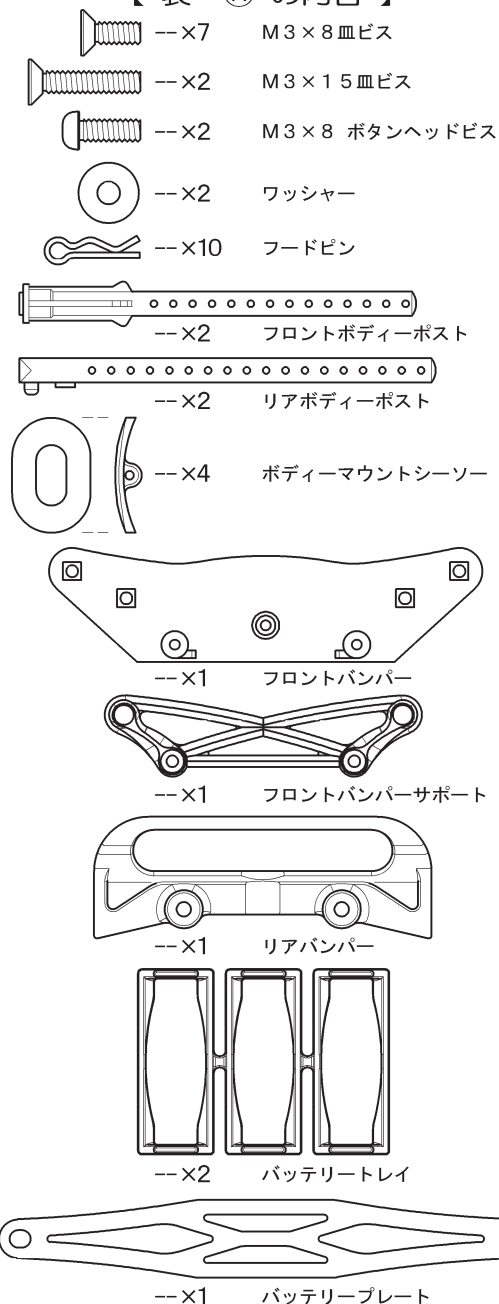
フロント側取付(シルバー)



リア側取付(ブラック)

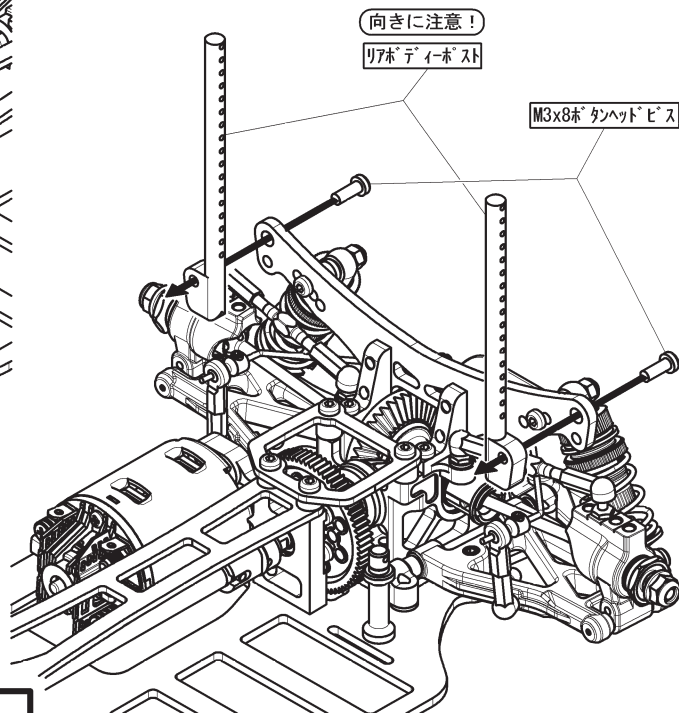
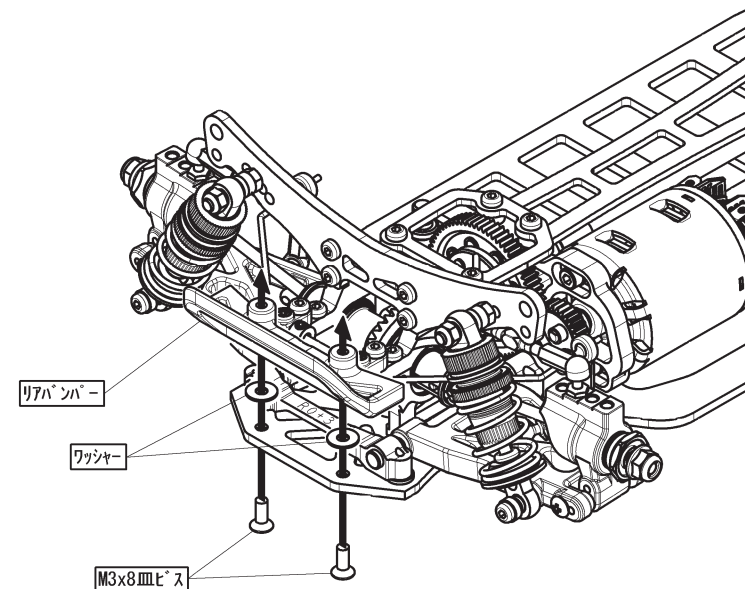
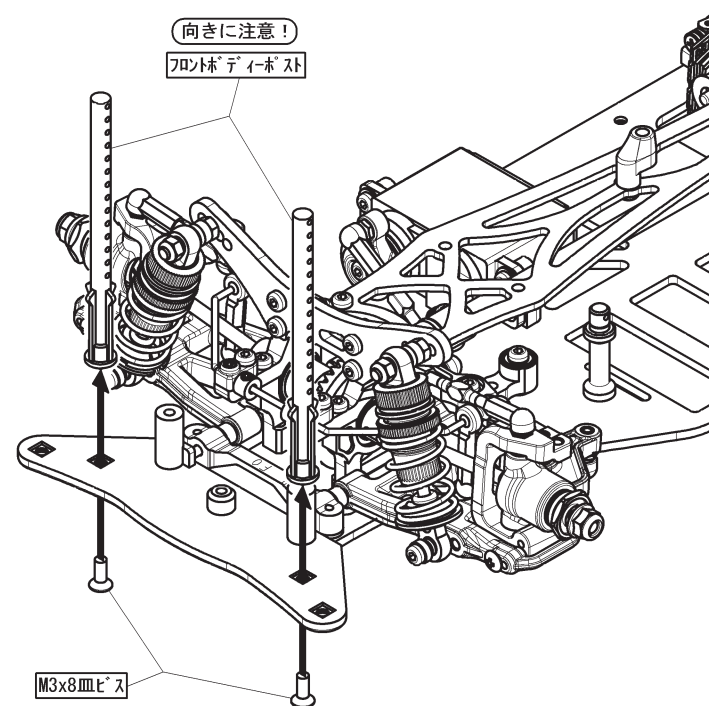
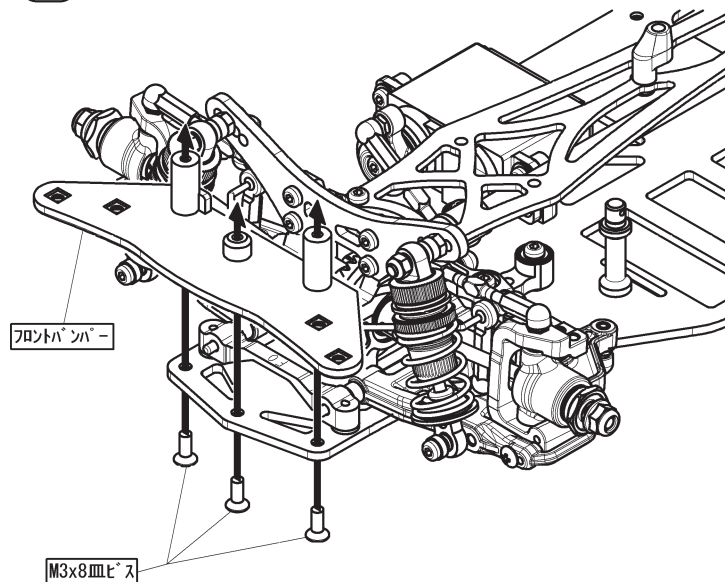


【 袋-14 の内容 】

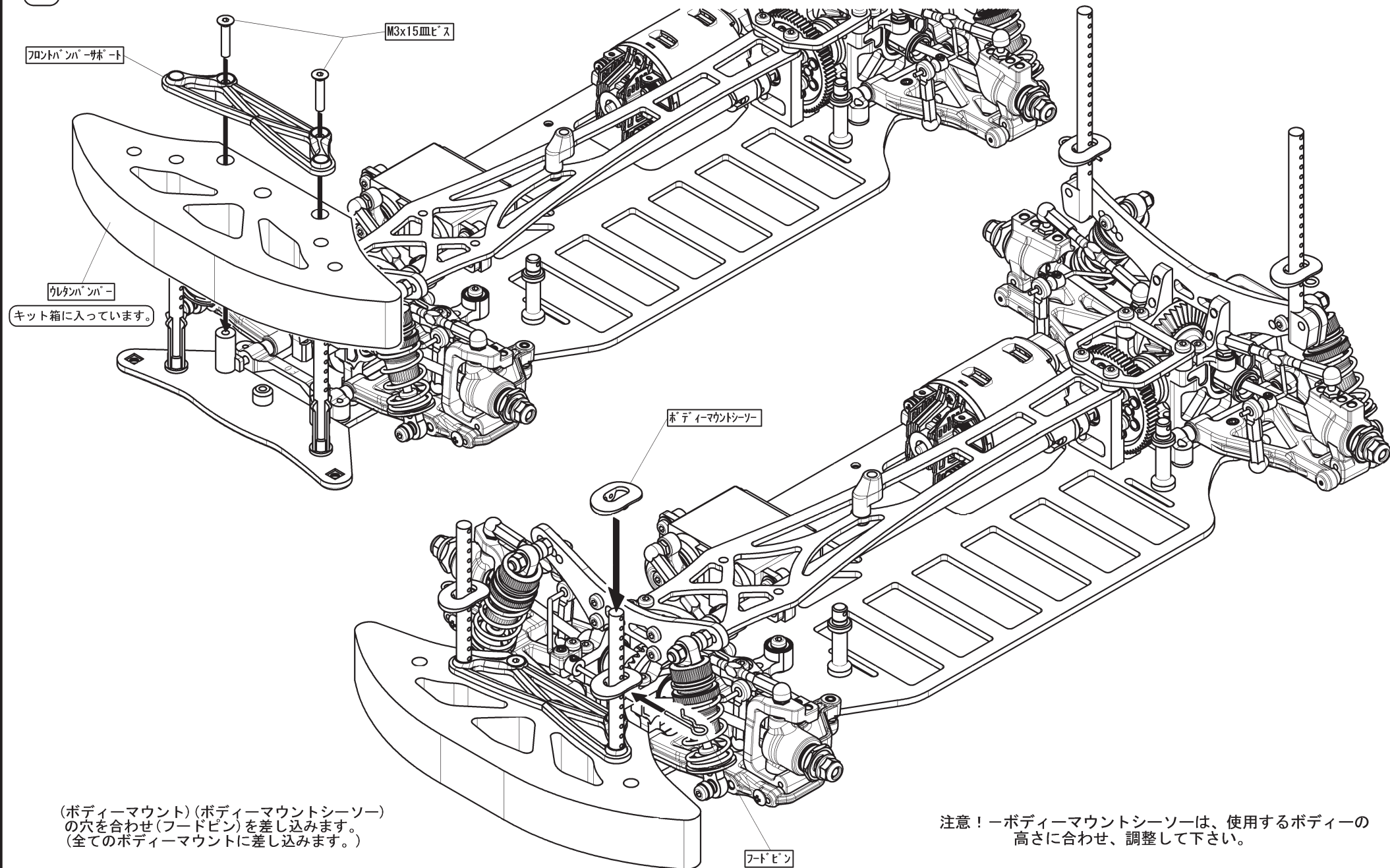


その他、アンテナキャップ、両面テープ
 スポンジテープ、ハイト&ドループゲージ 各1ヶ

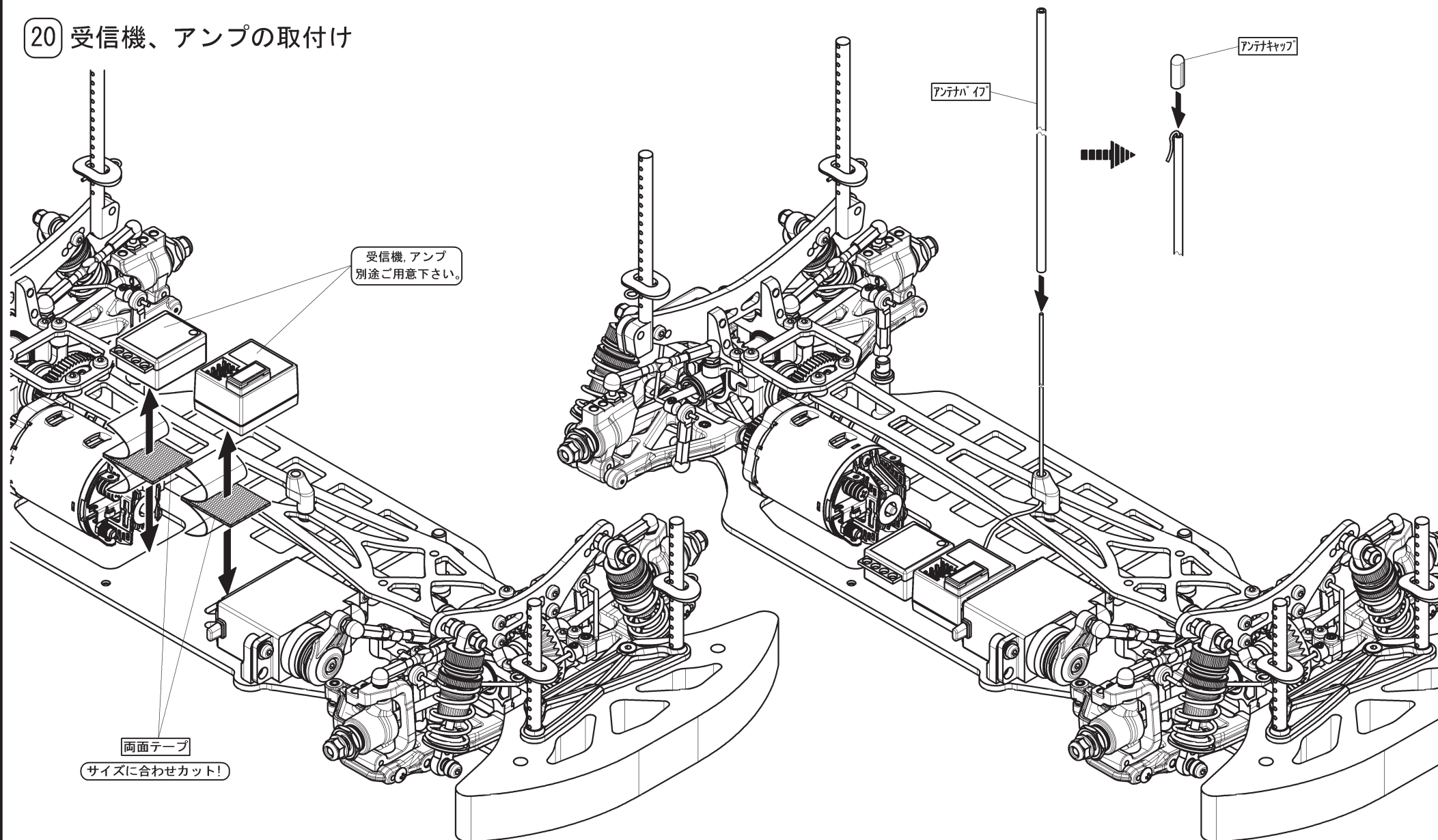
18 フロント&リアバンパー、ボディポストの取付け



19 ウレタンバンパー、ボディーマウントシーソーの取付け



20 受信機、アンプの取付け



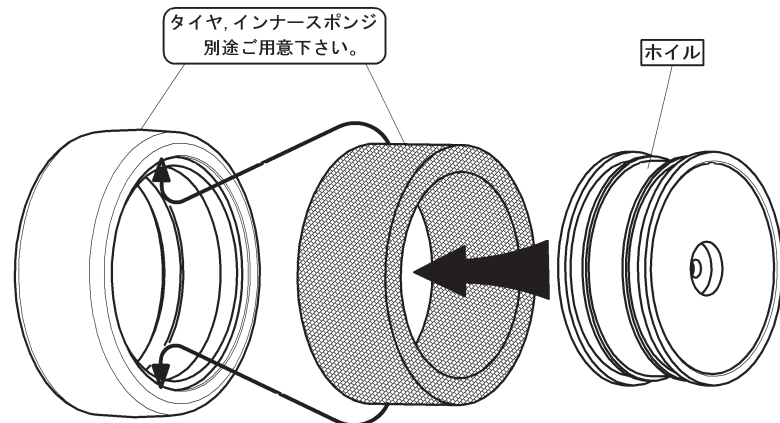
注意！①(受信機)(アンプ)の固定は付属の両面テープを使用しシャーシにしっかりと固定して下さい。
(接着面をクリーナーなどで脱脂しておく、はがれにくくなります。)

アンテナ線をイラストのようにアンテナマウントからアンテナパイプに通し、先端が2cm位出た所でアンテナパイプをマウントへ深めに差込み、アンテナキャップを被せて下さい。

注意！②余ったアンテナ線はメインドライブシャフトなどの稼動部分に触れない様に束ねて下さい。

21 タイヤの接着、ホイールハブの取付け

タイヤにインナー spons ジを押込み、タイヤのリブをホイールのミズにはめ込みます。
(ホイールはキット箱に入っています。タイヤ、インナー spons ジは別途ご用意下さい。)



タイヤのサイドをめくり、ホイールとの隙間に
瞬間接着剤を流し込み、両サイドを接着します。

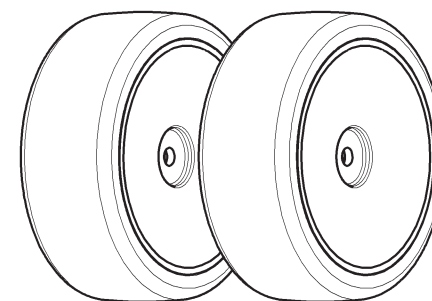
瞬間接着剤
別途ご用意下さい。



【取付け前にちょっと注目！】

各路面に対応できる、タイヤ、ホイール、インナー spons ジ
インナーモールドなどを各種ラインナップしております。

各商品の詳しい情報は [ヨコモ 総合カタログ] もしくは
[ヨコモホームページ <http://www.teamyokomo.com>] をご覧下さい。

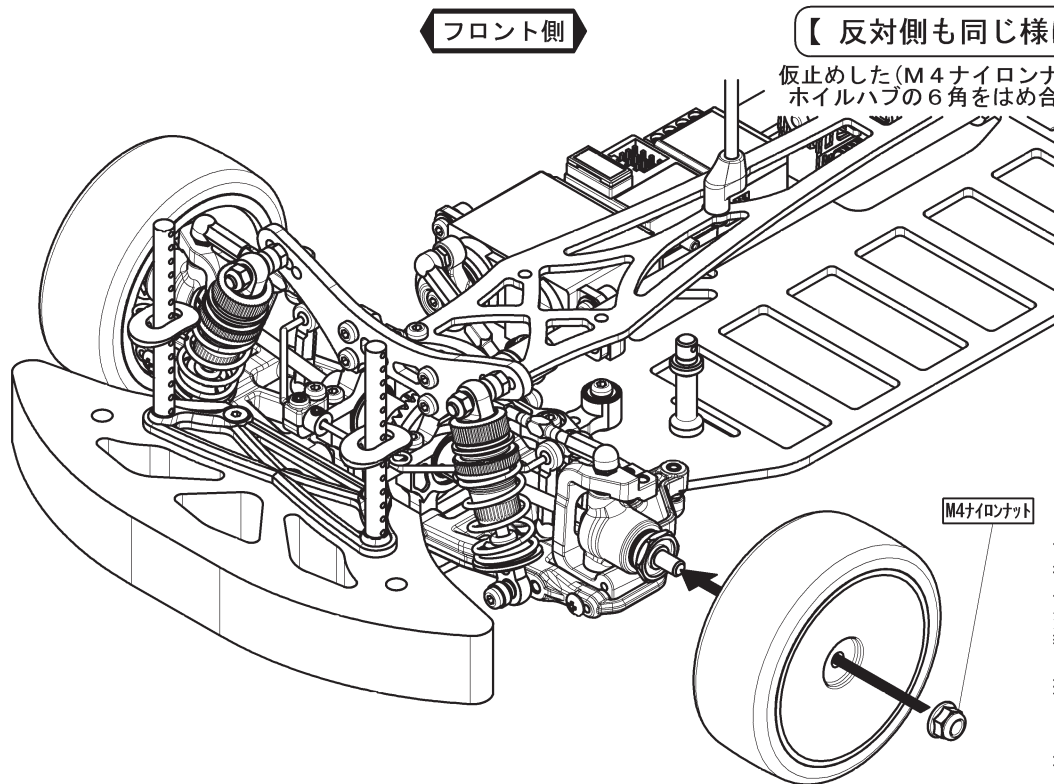


4本作ります。

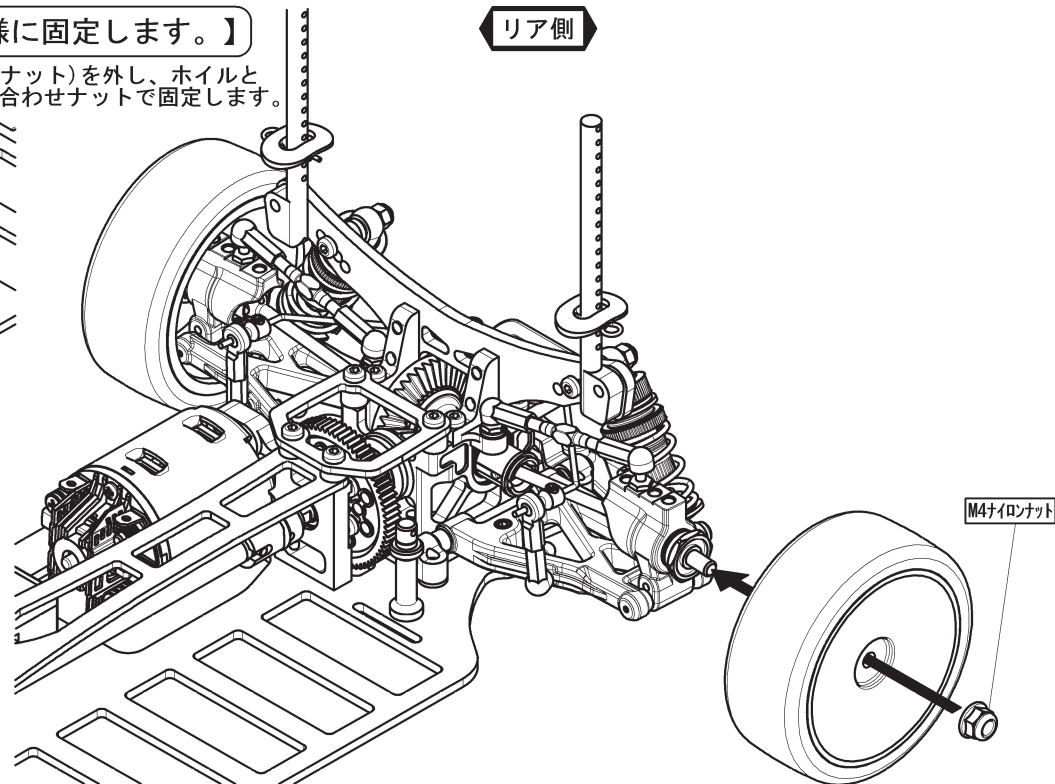
フロント側

【反対側も同じ様に固定します。】

仮止めた(M4ナイロンナット)を外し、ホイールと
ホイールハブの6角をはめ合わせナットで固定します。



リア側



22 バッテリーの搭載

(バッテリートレイ)をシャーシスロットにはめ込み、セパレートバッテリーをトレイの上にのせ(バッテリープレート)で押さえながら前後マウントにはめ込み、(フッドピン)を差して固定して下さい。

別途ご用意下さい。

セパレートバッテリー

バッテリートレイ×2

バッテリープレート

スポンジテープ

(バッテリープレート)に(スポンジテープ)をはり付け、はみ出ている部分をカットします。

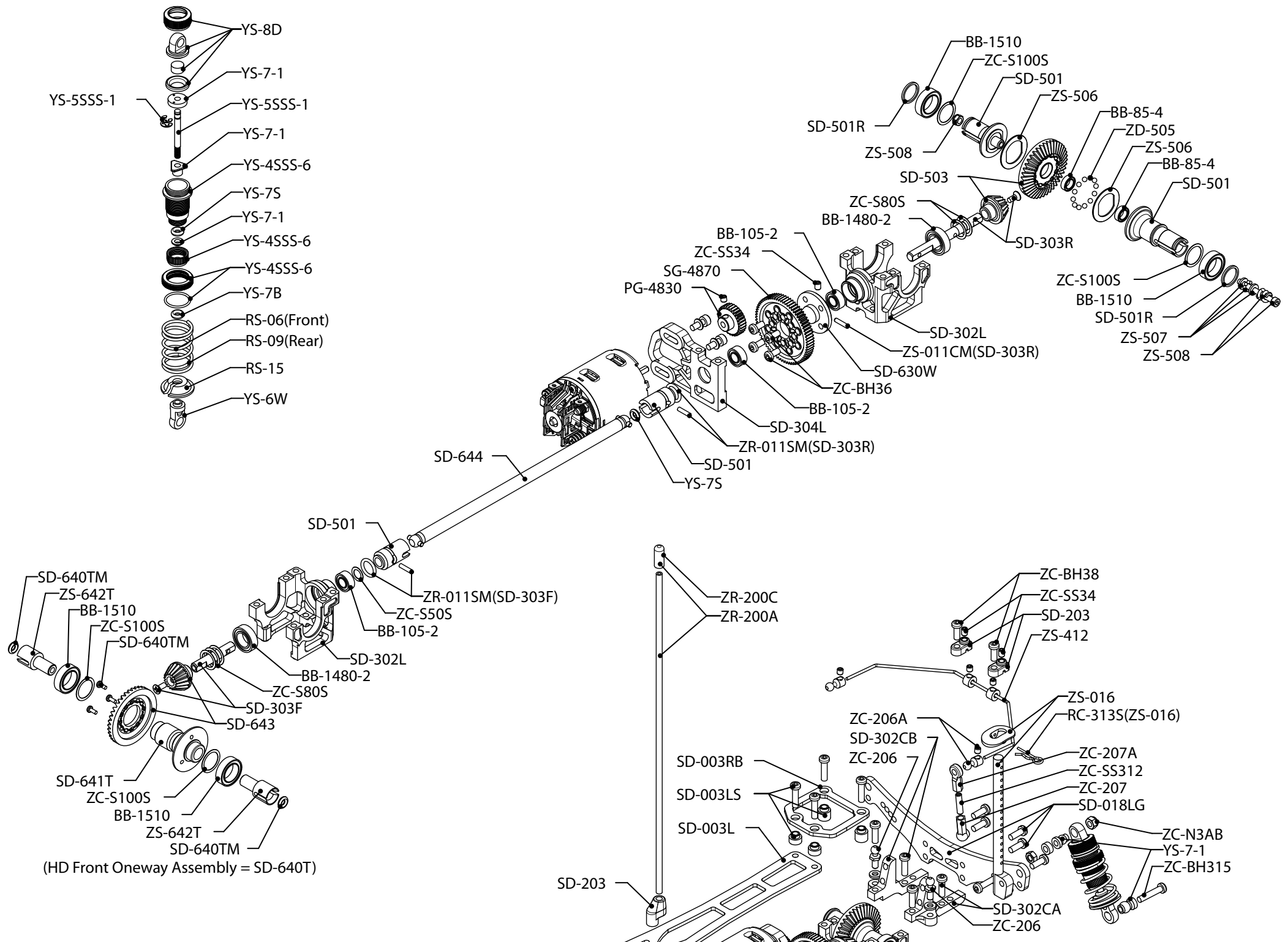
フッドピン

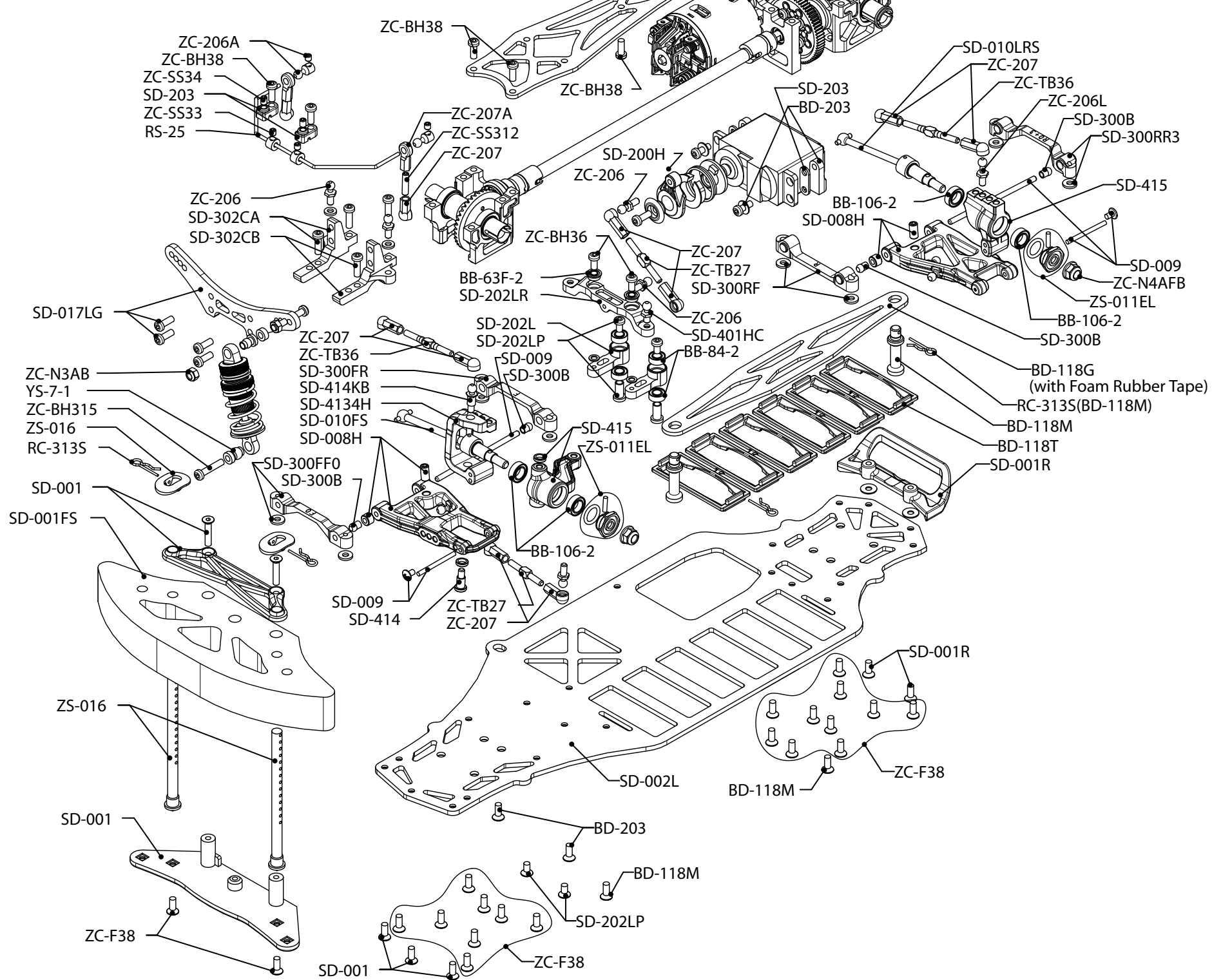
フッドピン

注意！①キットには、バッテリーは含まれておりませんので別途ご用意下さい。

②連続走行はモーターに必要以上の負荷を掛けるだけでなく寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから走行をさせて下さい。

MR-4TC LCGの完成です。マシンは予想以上のスピードが出ますので、必ず広い安全な場所を見つけてから走行をお楽しみ下さい！





As a manufacturer of World Championship winning cars,

Yokomo will continue to provide the best available technology to R/C enthusiasts all over the world.

Enjoy this product knowing that you are driving one of the best handling R/C cars ever designed.

YOKOMO

World Champions

YOKOMO

世界のブランド YOKOMO

ヨコモは競技用 R/C カー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、全米選手権、ヨーロッパ選手権、そして R/C カーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界中の R/C カーマニアに愛用されています。

株式会社 ヨコモ 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 5-23-7 <http://www.teamyokomo.com>

TEL 03-5613-7553 FAX 03-5613-7552 営業時間：9 時～ 12 時 13 時～ 17 時（祝祭日を除く月～金）